ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C



型式：YY3013

クイックスタートガイド

正しい装着方法を確認しましょう

ヘッドセットを装着する

アプリをダウンロードして、ヘッドセットのセットアップをしましょう

お持ちの製品とアプリを接続することで初めて使える便利な機能がたくさんあります。今すぐ“Sound Connect”アプリをダウンロードして試してみましょう。
“Sound Connect”アプリでできる主な機能については、「“Sound Connect”アプリを使う」をご覧ください。

Sound Connect

使い始めよう



電源を入れる

ランプが青色に点滅し、通知音が鳴るまで電源ボタンを約2秒以上押したままにしてください。電源が入ります。お買い上げ後に初めて電源を入れたときは、自動的にペアリングモードになります。

電源ボタンは左ユニットにあります。



BLUETOOTH®接続する

ダウンロードした“Sound Connect”アプリの指示に従ってください。



ヘッドセットで操作する

タッチセンサーコントロールパネルを使って、以下の操作ができます。

- すばやく2回タップする：再生/一時停止
- 前にすべらせて離す：次の曲の頭出し
- 後ろにすべらせて離す：前（または再生中）の曲の頭出し
- 上にすべらせて離す：音量を上げる
- 下にすべらせて離す：音量を下げる

タッチセンサーコントロールパネルは右ユニット外側の平らな面にあります。

詳しい操作は「音楽再生時にできること（BLUETOOTH接続）」をご覧ください。

⚠ 水ぬれによる焼損や故障を防ぐために

ヘッドセットは防水仕様ではありません。
雨や汗などでぬれたまま充電すると焼損や故障の原因になります。

ご注意

- ヘッドセットのスライダーを調節せずに装着した場合、適切な装着位置にならず痛みを感じたり、ノイズキャンセリング効果が弱いと感じることがあります。
  またヘッドセットの装着検出機能が正しく動作せず、自動的に音楽が再生停止したり、自動電源オフ機能（省電力機能）が働き自動的にヘッドセットの電源が切れる場合があります。

関連情報

ヘッドセットを装着する
BLUETOOTH接続をするには
充電する

ヘッドセットでできること

ヘッドセットを使う

“Sound Connect”アプリを使う

準備する

音声ガイダンスについて

付属品について

箱の中身を確認する
キャリングケースに収納する

各部の名前

各部の名前
ランプ表示

ヘッドセットを装着する

ヘッドセットを装着する

ヘッドセットを操作する

タッチセンサーコントロールパネルについて
Quick Access（クイックアクセス）を使う

電源／充電

充電する
使用可能時間
充電式電池の残量を確認する
ヘッドセットの電源を入れる
ヘッドセットの電源を切る

接続する

BLUETOOTH接続をするには

アプリを使ってかんたんに接続する

“Sound Connect”アプリを使って接続する

Android™搭載スマートフォン

Android搭載スマートフォンをペアリングしてから接続する
ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する

iPhone（iOS搭載機器）

iPhoneをペアリングしてから接続する
ペアリング済みのiPhoneと接続する

パソコン

パソコンをペアリングしてから接続する（Windows® 11）
パソコンをペアリングしてから接続する（Mac）

ペアリング済みのパソコンと接続する（Windows 11）
ペアリング済みのパソコンと接続する （Mac）
その他のBLUETOOTH機器
BLUETOOTH機器をペアリングしてから接続する
ペアリング済みのBLUETOOTH機器と接続する
マルチポイント接続
2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）
BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）
付属のヘッドホンケーブルをつないで使う
音楽を聞く
BLUETOOTH接続を使って音楽を聞く
BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
音楽再生時にできること（BLUETOOTH接続）
360 Reality Audioについて
ノイズキャンセリング機能
ノイズキャンセリング機能とは
ノイズキャンセリング機能を使う
装着状態に合わせてノイズキャンセリング機能を最適化する（NCオプティマイザー）
周囲の音を聞く
音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能）
すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）
ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）
通話する
電話を受ける
電話をかける
通話時にできること
パソコンでビデオ通話する
音声アシスト機能を使う
音声アシスト機能（Google™アプリ）を使う

音声アシスト機能（Siri）を使う

お知らせ

使用上のご注意

対応コーデックについて

ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

水ぬれによる焼損や故障を防ぐために

ライセンスについて

商標について

困ったときは

困ったときにすること

リセットする

初期化する

主な仕様

主な仕様

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ヘッドセットを使う

ヘルプガイド内に詳しい操作が記載されている機能については、ページ下の関連項目からご覧ください。

BLUETOOTH接続

スマートフォンやパソコンなどとBLUETOOTH接続できます。

BLUETOOTH接続した機器の音楽を再生

BLUETOOTH接続したスマートフォンやパソコンなどの音楽をワイヤレスで楽しめます。



BLUETOOTH接続した機器と通話

BLUETOOTH接続したスマートフォンやパソコンなどとワイヤレスで通話できます。



関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- 2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）
- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- 音楽再生時にできること（BLUETOOTH接続）

TP1002308425

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

“Sound Connect”アプリを使う

“Sound Connect”をGoogle Play™ストアまたは App Storeからスマートフォンにインストールします。



“Sound Connect”アプリの機能と連携できるサービス情報

https://www.sony.net/supported-servicelink
sony.net/servicelink

- 連携できるサービスは、国や地域ごとに異なります。
- 連携できるサービスの仕様は、予告なく変更、停止または終了する場合があります。

“Sound Connect”アプリを使って操作・設定できる機能は以下の通りです。
ヘルプガイド内に詳しい操作が記載されている機能については、ページ下の関連項目からご覧ください。

以下は［マイデバイス］タブからアクセスできます。

ヘッドセットの操作、状態表示

- 充電式電池の残量表示（ヘッドセット）

外音コントロール

ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能のモードを調整します。

アダプティブサウンドコントロール

行動検出によって、ノイズキャンセリング機能を自動で調整します。

スピーク・トゥ・チャット

スピーク・トゥ・チャット音声自動検出の有効／無効の切り替えと設定を行います。

イコライザー

音質をプリセットから設定します。お好みにカスタマイズした音質も設定できます。

DSEE Extreme

AI（人工知能）技術を使用して高音域補完の性能をさらに高めています。CD音源や圧縮音源をハイレゾ相当の高解像度音源にアップスケーリングして再生します。

ご注意

- DSEE Extremeを［Auto］に設定していると、使用可能時間が短くなります。

360 Reality Audio

360 Reality Audioを設定します。

BLUETOOTH接続品質

音質か接続の安定性のどちらを優先するか設定できます。

- ［音質優先］：再生音質を優先します。
- ［接続優先］：音切れしやすいなど接続が不安定なときに選択します。

Quick Accessのサービスを変更

Quick Accessに割り当てるサービスを設定します。

タッチセンサーコントロールパネル

タッチセンサーコントロールパネルでの操作を有効または無効にします。

ヘッドホンを外したら音楽を一時停止

装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能を設定します。

自動電源オフ

装着検出による自動電源オフ機能を設定します。有効にすると、消費電力は増加します。

通知音と音声ガイダンス

通知音や音声ガイダンスのオン／オフを切り替えます。音声ガイダンスの言語や音量も設定します。

ソフトウェアバージョン

ヘッドセットのソフトウェアバージョンを表示します。

ソフトウェアアップデート

ヘッドセットのソフトウェアをアップデートする方法を設定します。

以下は［ディスカバー］タブからアクセスできます。

リスニングヒストリー

ヘッドセットの使用状況や聞いた楽曲の振り返りなど、利用履歴を記録し表示します。

以下は［メニュー］タブからアクセスできます。

ヘルプ

ヘッドセットのサポート情報を表示します。

ご注意

- “Sound Connect”アプリの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

関連項目

- ノイズキャンセリング機能を使う

- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）
- 360 Reality Audioについて
- Quick Access（クイックアクセス）を使う
- タッチセンサーコントロールパネルについて
- ヘッドセットを装着する
- 音声ガイダンスについて
- ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

TP1002308426

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

音声ガイダンスについて

操作した内容やヘッドセットの状態によって、以下のような音声ガイダンスが流れます。
お買い上げ時の状態では、ヘッドセットを耳に装着すると英語、中国語または日本語の音声ガイダンスが流れます。
“Sound Connect”アプリを使用すると、音声ガイダンスの言語の変更やオン／オフの切り替えができます。

「ペアリングモード」

- ヘッドセットを耳に装着してヘッドセットが自動的にペアリングモードになったとき
  ヘッドセットは以下の場合、自動的にペアリングモードになります。
  - ヘッドセットをお買い上げ後に初めてペアリングするとき
  - ヘッドセットを初期化した後など、ヘッドセットにペアリング情報がない場合に、ヘッドセットを耳に装着したとき
- 手動でペアリングモードにしたヘッドセットを耳に装着したとき

「バッテリーが少なくなりました」

- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくなったとき

「バッテリーがなくなりました」

- ヘッドセットの充電式電池の残量が少なくなって自動的に電源が切れるとき

「バッテリー約XX%」

- 充電式電池の残量を確認したとき
  「XX」の数値は大まかな残量を示します。おおよその目安として利用してください。

「テスト音声です」

- 音声ガイダンスの音量を設定したとき

「最適化を開始」

- NCオプティマイザーを開始したとき

「最適化を完了」

- NCオプティマイザーが完了したとき

「Quick Accessに割り当てたアプリが起動していません」

- ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタンにQuick Accessを設定した場合、ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタンを押しても、対応するアプリが起動しないとき

「Quick Accessは使用できません。Sound Connectを開いて、サービスの設定を確認してください。」

- Quick Access操作時に利用条件を満たしていないとき

ご注意

- 音声ガイダンスの言語を変更する場合は、最大10分間ほど時間がかかります。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化すると、言語も初期状態に戻ります。
- 音声ガイダンスが聞こえなくなった場合は、いったんヘッドセットの電源を切ります。その後、もう一度電源を入れてください。

TP1002308427

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

箱の中身を確認する

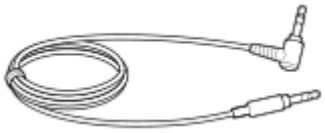
箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。
（ ）内は個数を示します。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット（1）

USB Type-C™ケーブル（USB-A - USB-C™）（1）（中国大陸向けのモデルのみ）



ヘッドホンケーブル（1）



キャリングケース（1）



印刷物（一式）

TP1002308428

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

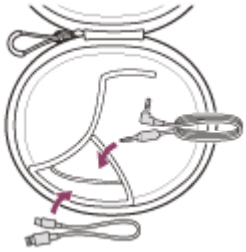
キャリングケースに収納する

使用後は、左右のユニットを回転させてヘッドセットを平らにし、片方のユニットをヘッドバンドに向けて折りたたんで、付属のキャリングケースに収納してください。



ケーブルを収納するには

ケーブルは、キャリングケース内の区切られたホルダーに収納してください。



ご注意

- ユニットの回転軸などの可動部を通常とは逆側に回す、ヘッドセットを落下させるなど、通常使用の範囲を超える外力を与えると破損する恐れがあります。お客様の誤った取り扱いが原因の破損による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

TP1002308429

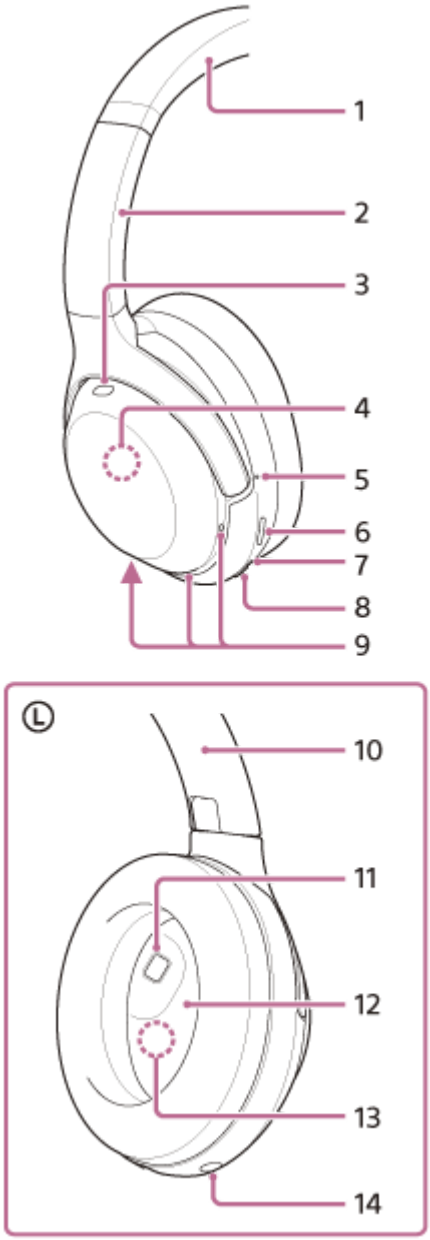
5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

各部の名前

左ユニット

ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタン、電源ボタン、ヘッドホンケーブル入力端子があります。



1. ヘッドバンド

2. スライダー
   ヘッドバンドの長さを調節します。

3. ノイズキャンセリング機能用マイク（外部）
   ノイズキャンセリング機能使用時のノイズを収音します。

4. 内蔵アンテナ
   BLUETOOTHアンテナが内蔵されています。

5. 凸点（突起）

6. ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタン
   NC/AMB：ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードマーク

7. ランプ（赤／青）
   ヘッドセットの電源状態と通信状態を赤色と青色で表示します。

8. 電源ボタン／BLUETOOTHボタン
   ⏻ ：電源マーク
   ᛒ ：BLUETOOTHマーク

9. 音声収音用マイク
   通話時やスピーク・トゥ・チャットモード使用時の声を収音します。

10. 製造番号
    スライダーの内側に記載されています。

11. 近接センサー
    ヘッドセットを耳に装着しているかどうかを感知します。

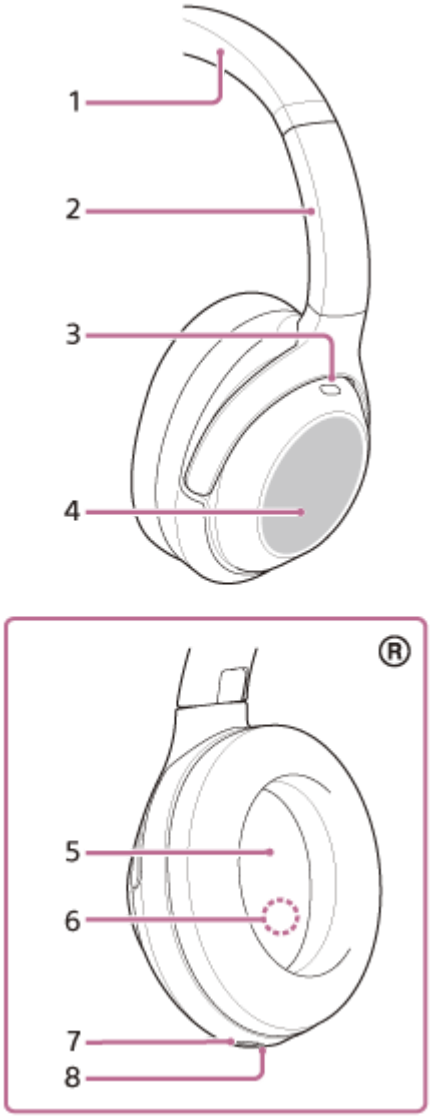
12. L（左）マーク

13. ノイズキャンセリング機能用マイク（内部）
    ノイズキャンセリング機能使用時のノイズを収音します。

14. ヘッドホンケーブル入力端子
    付属のヘッドホンケーブルを使って音楽プレーヤーなどを接続します。奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。プラグが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。

右ユニット

USB Type-C端子と、外側の平らな部分にタッチセンサーコントロールパネルがあります。



1. ヘッドバンド

2. スライダー
   ヘッドバンドの長さを調節します。

3. ノイズキャンセリング機能用マイク（外部）
   ノイズキャンセリング機能使用時のノイズを収音します。

4. タッチセンサーコントロールパネル
   右ユニット外側の平らな面にあります。
   タッチセンサーコントロールパネルを操作して、BLUETOOTH接続機器の音楽再生リモートコントロールなどができます。

5. R（右）マーク

6. ノイズキャンセリング機能用マイク（内部）
   ノイズキャンセリング機能使用時のノイズを収音します。

7. USB Type-C端子
   USB Type-Cケーブルで、ヘッドセットをパソコンにつなぐか、USB ACアダプターを使って電源コンセントにつないで充電します。

8. 充電ランプ（赤）
   充電中に赤く点灯します。

関連項目

- ランプ表示
- 充電式電池の残量を確認する
- タッチセンサーコントロールパネルについて

TP1002308430

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ランプ表示

ヘッドセットの動作状態をランプで確認できます。

● ：青色点灯
● ：赤色点灯
- ：消灯

電源ボタンのランプ（青／赤）

電源の状態

2回青色に点滅する。
● - ● -

- ヘッドセットの電源を入れたとき

約2秒間青色に点灯する。
――― - - - -

- ヘッドセットの電源を切るとき

充電式電池の残量表示

2回青色に点滅する。
● - ● -

- 充電式電池の残量を表示した際、残量が10%より多かったとき

約15秒間遅い赤色点滅を繰り返す。
―― - - ―― - -

- 充電式電池の残量を表示した際、残量が10%以下だったとき
- 充電式電池の残量が少なくなったとき

BLUETOOTH接続状態

2回ずつ青色点滅を繰り返す。
● - ● - - - - ● - ● - - - - ● - ●

- ペアリングモードのとき

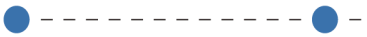
約1秒間隔で青色点滅を繰り返す。
● - - - - - ● - - - - -

- 未接続状態のとき

約5秒間、速い青色点滅を繰り返す。
● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● - ● -

- 接続が完了したとき

約5秒間隔で青色点滅を繰り返す。



- 接続が確立状態のとき

速い青色点滅を繰り返す。

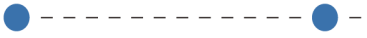


- 着信中のとき

未接続状態や接続状態の表示は、一定の時間が経過すると自動的に消灯します。なにか操作を行うと、もう一度、一定時間点滅します。また、充電式電池の残量が少なくなると、赤色点滅に変わります。

その他

約5秒間隔で青色点滅を繰り返す。



- ヘッドホンケーブル接続中で電源がオンのとき
  一定の時間が経過すると自動的に消灯します。また、充電式電池の残量が少なくなると、赤色点滅に変わります。

約0.6秒間隔で赤色と青色点滅を繰り返す。



- ソフトウェアアップデート中のとき

4回青色に点滅する。



- 初期化が完了したとき

USB Type-C端子の充電ランプ（赤）

充電の状態

約1分間、赤色点灯後、消灯する。



- 充電開始時に満充電だったとき

赤色に点灯する。



- ヘッドセットを充電中のとき

消灯する。

- 満充電になり充電が完了したとき

2回ずつ赤色点滅を繰り返す。



- ヘッドセットの電池温度が異常なとき

遅い赤色点滅を繰り返す。



- ヘッドセットの充電時に異常があり、充電できていないとき

関連項目

- 充電式電池の残量を確認する
- 初期化する

TP1002308431

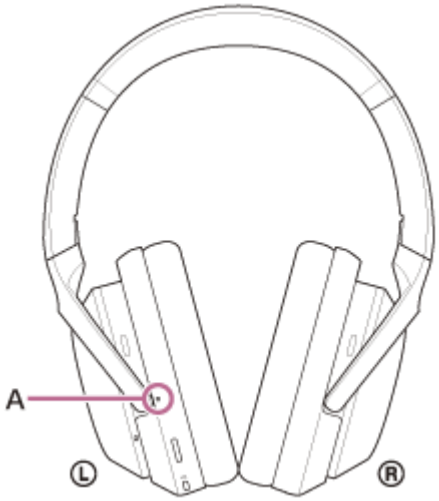
5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ヘッドセットを装着する

1 ヘッドセットの左右を確認する。

左ユニットには凸点（突起）（A）があります。



2 スライダーを伸ばす。

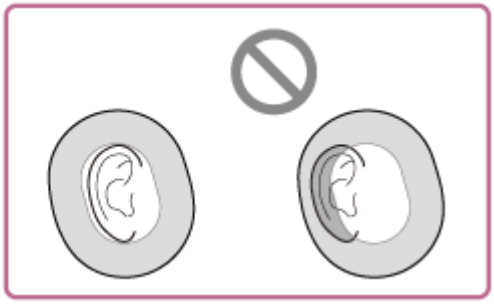
ヘッドセットを装着する前にスライダーをいっぱいに伸ばします。



3 ヘッドセットを装着する。

耳がイヤーパッド内に収まるようにヘッドセットを装着します。





4 スライダーの長さを調節する。

ヘッドバンドが頭頂部に触れるところまでスライダーの長さを調節します。





5 ユニットの角度を調節する。

耳の周りにイヤーパッドが均一に当たるように左右のユニットの角度を調節します。



ヘッドセットのスライダーを調節せずに装着した場合、適切な装着位置にならず痛みを感じたり、ノイズキャンセリング効果が弱いと感じることがあります。
また、ヘッドセットの装着検出機能が正しく動作せず、自動的に音楽が再生停止したり、自動電源オフ機能（省電力機能）が働き自動的にヘッドセットの電源が切れる場合があります。
スライダーを調節した後にヘッドバンドがずれやすいと感じる場合は、スライダーを短めに調節してください。改善することがあります。

ヘッドセットを耳に装着したり取り外したりすると

お買い上げ時の設定では、左ユニットに内蔵された近接センサーが装着と取り外しを検知します。検知すると、自動的にタッチセンサーコントロールパネルの操作や電源オフ、再生の一時停止などを制御します。

ヘッドセットを装着すると

- ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルで音楽再生や通話などの操作ができます。

ヘッドセットを取り外すと

- ヘッドセットを耳に装着して音楽を再生しているときに、ヘッドセットを取り外すと、自動的に再生を一時停止します。もう一度耳に装着すると再生を再開します。
- 電池を節約するため、ヘッドセットを装着しないまま15分経過すると、自動的にヘッドセットの電源が切れます。
- 誤動作を防止するため、ヘッドセットを取り外すと、タッチセンサーコントロールパネルをタップしても音楽再生や通話などの操作はできません。
  また、ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタンを押してもノイズキャンセリング機能を使用することはできません。
- ヘッドセットを耳に装着して通話しているときに、ヘッドセットを取り外すと、自動的にスマートフォンでの通話に切り替わります。もう一度耳に装着すると、ヘッドセットでの通話に切り替わります。

ヒント

- “Sound Connect”アプリを使用すると、装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能や、自動電源オフ機能（省電力機能）の設定を変更できます。

ご注意

- 以下のような場合、装着検出が誤動作する場合があります。ヘッドセットを使用しない場合は電源を切ってください。
  - ヘッドセットを首にかけた状態で、ハウジング内に顎が入る



  - 左ユニットのイヤーパッド内部に手を入れる



  - ヘッドセットをカバンなどに入れる



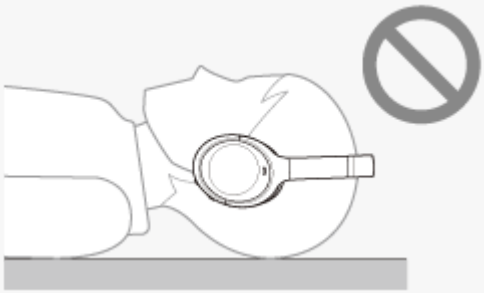
  - ヘッドセットをカバンなどに掛ける



  - ヘッドセットを机の上などに置く



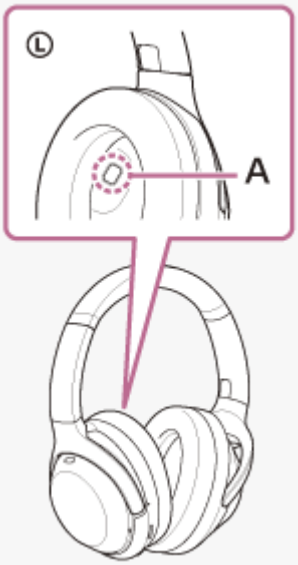
- 以下のように、上を向いた状態や下を向いた状態でヘッドセットを装着したり、ヘッドセットを逆さまにして装着した場合、装着検出が正しく動作せず、タッチセンサーコントロールパネルやノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタンを操作できない場合があります。前を向いてヘッドセットを正しく装着するか、電源ボタンを短く押してください。
  - 寝た状態や上を向いた状態でヘッドセットを装着する



  - 下を向いた状態でヘッドセットを装着する



- ヘッドセットを帽子や布、マフラー、髪の毛などの上から装着した場合、装着検出が正しく動作せず、タッチセンサーコントロールパネルを操作できない場合があります。耳がイヤーパッド内に入るように装着してください。
- 付属のヘッドホンケーブルをつないでいるときは、装着検出は動作しません。
- 装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能は、BLUETOOTH接続時のみ有効です。
- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能には対応していません。
- ヘッドセットを耳に装着したり取り外したりしたときに通話の音声が切り替わるのは、装着検出による自動電源オフ機能を有効にしている場合のみです。
- 左ハウジング内の近接センサー部に汗などによる蒸れ、結露などで曇りや水滴がついた場合、装着検出が正しく動作しないことがあります。曇りや水滴がついた場合は、曇りや水滴がなくなるまで近接センサー部を上に向けて放置してください。



A : 近接センサー部

- ユニットの回転軸などの可動部を通常とは逆側に回す、ヘッドセットを落下させるなど、通常使用の範囲を超える外力を与えると破損する恐れがあります。お客様の誤った取り扱いが原因の破損による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

関連項目

- “Sound Connect”アプリを使う

TP1002308432

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

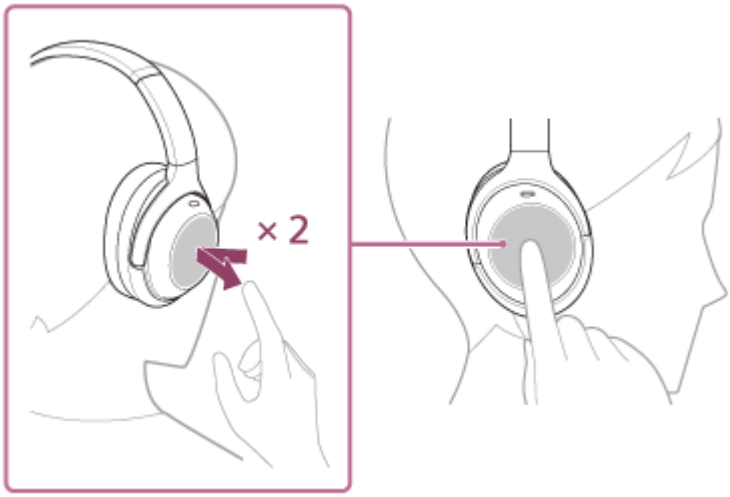
タッチセンサーコントロールパネルについて

ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネル（A）を使って、再生や通話、クイックアテンションモードの切り替えなどさまざまな操作ができます。



主な操作

- 約0.4秒間隔ですばやく2回タップする



音楽再生時：再生／一時停止をします。
通話時：着信中の場合は、電話を受けます。通話中の場合は、通話を終了します。

- 前にすべらせて離す



音楽再生時：次の曲の頭出しをします。早送りをするには、前にすべらせて触れたまま止め、再生したい位置に来たら指を離します。

- 後ろにすべらせて離す



音楽再生時：前（または再生中）の曲の頭出しをします。早戻しするには後ろにすべらせて触れたまま止め、再生したい位置に来たら指を離します。

- 上にすべらせて離す



音楽再生時／通話時：音量を上げます。お好みの音量になるまで繰り返してください。音量を連続して変えるには、上にすべらせて触れたまま指を止め、お好みの音量になったら指を離します。

- 下にすべらせて離す



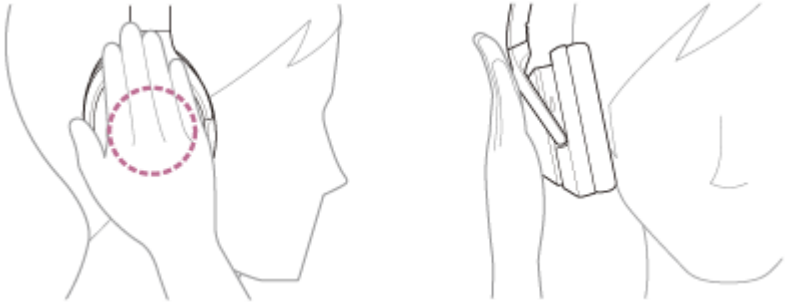
音楽再生時／通話時：音量を下げます。お好みの音量になるまで繰り返してください。音量を連続して変えるには、下にすべらせて触れたまま指を止め、お好みの音量になったら指を離します。

- 触れたままにする



音声アシスト機能時：音声入力を開始します。音声入力を終了するには、指を離します。

- タッチセンサーコントロールパネル全体を手で触れる



クイックアテンションモードを使用します。クイックアテンションモードを終了するには、手を離します。

ヒント

- “Sound Connect”アプリを使用すると、タッチセンサーコントロールパネルのオン／オフの切り替えができます。

ご注意

- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBLUETOOTH機器が誤動作する場合があります。
- 接続する機器、使用する音楽ソフトやアプリによって利用できる機能が異なります。上記の操作をしても異なる動作をしたり、動作しない場合があります。
- 誤動作を防止するため、耳に装着されていないヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルをタップしても再生や通話などの操作はできません。

関連項目

- “Sound Connect”アプリを使う
- 音楽再生時にできること（BLUETOOTH接続）
- 通話時にできること
- ヘッドセットを装着する
- 音声アシスト機能（Siri）を使う
- すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）
- 電話を受ける
- 電話をかける

TP1002308438

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

Quick Access（クイックアクセス）を使う

Quick Accessは、ヘッドセットのボタンを押すだけで、対応するアプリでコンテンツを再生することができる機能です。

1. **ヘッドセットを耳に装着する。**

   ヘッドセットを耳に装着する手順は、「ヘッドセットを装着する」をご覧ください。

2. **スマートフォンとBLUETOOTH接続する。**

3. **“Sound Connect”アプリを起動し、ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタンの機能をQuick Accessに変更する。**

4. **“Sound Connect”アプリで、ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタンを2回押したときに実行するサービスを割り当てる。**

   ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタンを2回押したときに、あらかじめ設定しておいたサービスを実行できます。
   ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタンを2回押して実行する機能を［[NC/AMB] ボタンを2回押す］に設定します。

5. **Quick Accessに割り当てたサービスのアプリを起動する。**

6. **ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタンを2回押してQuick Accessを使う。**

   あらかじめ設定しておいたサービスを実行できます。

ヒント

- Quick Accessを使うには、対応するスマートフォンアプリのインストールとインターネット接続が必要です。アプリによってはサインインが必要です。
- 最新のQuick Accessの仕様について詳しくは、“Sound Connect”アプリをご確認ください。

ご注意

- 国や地域によってQuick Accessに割り当てることができるサービスが異なります。

TP1002308439

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

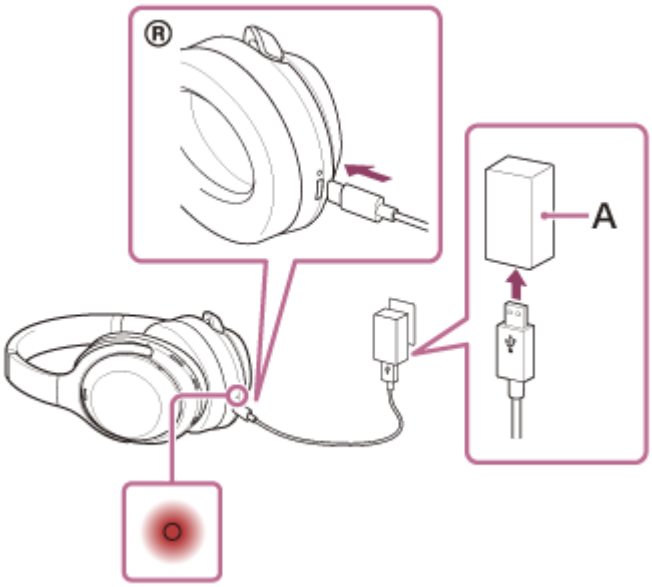
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

充電する

ヘッドセットは充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。USB Type-Cケーブルを使って充電してからお使いください。

1 ヘッドセットを電源コンセントに接続する。

USB Type-CケーブルとUSB ACアダプター（A）を使用します。



ヘッドセットの充電ランプが赤色に点灯します。
充電が完了すると、充電ランプは自動的に消灯します。

充電が終了したら、USB Type-Cケーブルを外してください。

充電時間について

ヘッドセットの満充電に要する時間は、約3時間*です。

* 充電式電池の残量がない状態から、満充電するのにかかる時間です。充電時間は使用条件により変わる場合があります。

USB充電の推奨環境

- **市販のUSB ACアダプター**
  出力電流1.5 A（1 500 mA）以上が供給可能な市販のUSB ACアダプターのType-C端子をご使用ください（中国大陸以外の国・地域向けモデル）
  出力電流1.5 A（1 500 mA）以上が供給可能な市販のUSB ACアダプターをご使用ください（中国大陸向けのモデル）

- **市販のUSBケーブル（中国大陸以外の国・地域向けモデル）**
  USB Type-Cケーブル（USB規格準拠品）

- **パソコン**
  USB端子が標準装備されたパソコン

  - すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
  - 自作パソコンは動作保証対象外です。

電池持続時間について

- ヘッドセットを長期間使わなかったときに電池持続時間が一時的に短くなることがあります。何度か充電と使用を繰り返すことで性能は正常に戻ります。
- ヘッドセットを数カ月間使用しない場合は、過放電によるバッテリーの劣化を防ぐため、少なくとも6カ月に1回は充電してください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。最寄りのソニー修理相談窓口にご相談ください。

ヒント

- USB Type-Cケーブルを使ってヘッドセットを起動中のパソコンに接続しても充電できます。

ご注意

- USB Type-Cケーブルが付属されている場合は、必ず付属品をご使用ください。
- 充電が終了したらUSB Type-Cケーブルを取り外してください。
- USB ACアダプターの機種によっては、充電できない場合があります。
- パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になると充電できなくなります。この場合はパソコンの設定を変更して、充電し直してください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くかかる場合があります。
- ヘッドセットは以下の原因などにより、充電中に異常を検知すると充電ランプが赤色に点滅します。この場合、もう一度充電温度範囲で充電を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。
  - 充電温度範囲5 ℃～35 ℃（華氏 41 °～ 95 °）を超える場合
  - 充電式電池に問題がある場合
- ヘッドセットを長期間お使いにならなかった後に充電を行った場合、すぐに充電ランプが赤色に点灯しない場合があります。充電ランプが点灯するまでしばらくお待ちください。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- ヘッドセットをパソコンと接続するときはUSB Type-Cケーブルを必ず直接接続してください。USBハブなどを経由してヘッドセットを接続すると、正しく充電されません。

関連項目

- ランプ表示

TP1002308433

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

使用可能時間

満充電時の使用可能時間は以下の通りです。

BLUETOOTH接続

連続音楽再生

コーデック	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
LDAC™	ノイズキャンセリング機能：有効	最大20時間
LDAC	外音取り込み機能：有効	最大16時間
LDAC	無効	最大27時間
AAC	ノイズキャンセリング機能：有効	最大27時間
AAC	外音取り込み機能：有効	最大19時間
AAC	無効	最大34時間
SBC	ノイズキャンセリング機能：有効	最大27時間
SBC	外音取り込み機能：有効	最大19時間
SBC	無効	最大34時間

- 充電3分間で約60分の音楽再生が可能です。

連続通話

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：有効	最大20時間
外音取り込み機能：有効	最大16時間
無効	最大27時間

ヘッドホンケーブル接続 電源オン時

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：有効	最大19時間
外音取り込み機能：有効	最大16時間
無効	最大32時間

ヒント

- “Sound Connect”アプリを使用すると、接続しているコーデックの確認やDSEE Extreme™の切り替えができます。

ご注意

- 各種機能の設定や使用条件により、上記と実際の時間が異なる場合があります。
- 以下の設定を行うと、電池の使用可能時間が上記より短くなります。
  - イコライザー
  - DSEE Extreme
  - スピーク・トゥ・チャット
  - サービスとの連携
  - その他、初期設定から“Sound Connect”アプリで設定を行う各モード・機能

  上記の設定を同時に行うと、電池の使用可能時間はさらに短くなります。

関連項目

- 対応コーデックについて
- “Sound Connect”アプリを使う

TP1002308434

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

充電式電池の残量を確認する

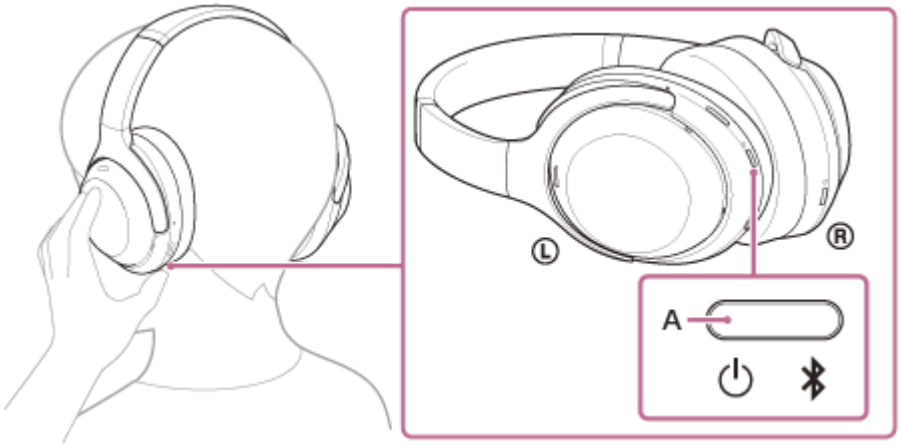
以下の方法で充電式電池の残量を確認することができます。

スマートフォンで確認する

- iPhone（iOS 13以降）をお使いの場合
  iPhoneとHFP（Hands-free Profile）でBLUETOOTH接続している間は、iPhoneでヘッドセットの充電式電池の残量を確認できます。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
  なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。
- Android搭載スマートフォン（OS 8.1以降）をお使いの場合
  Android搭載スマートフォンとHFPでBLUETOOTH接続している場合、スマートフォンでヘッドセットの充電式電池の残量を確認できます。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
  なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

電源ボタンで確認する

ヘッドセットの電源が入っている状態で電源ボタン（A）を押すと、充電式電池の残量を示す音声ガイダンスが流れます。



「バッテリー約XX%」（「XX」の数値は大まかな残量を示します。）
音声ガイダンスが示す充電式電池の残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。
また、ヘッドセットの電源を入れたときに、充電式電池の残量が10%以下の場合はランプが赤色に約15秒間点滅します。

音声ガイダンスの通知で確認する

充電式電池の残量が少なくなると、以下の場合に音声ガイダンスが流れます。

- ヘッドセットの電源を入れたとき
- ヘッドセットを使用しているとき

残量が完全になくなると警告音がなります。音声ガイダンスが流れて、ヘッドセットの電源が自動的に切れます。

ヒント

- ヘッドセットの充電式電池の残量は“Sound Connect”アプリ上でも確認できます。Android搭載スマートフォン、iPhoneとも対応しています。

ご注意

- スマートフォンとHFPで接続されていないと、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- マルチポイント接続でiPhoneまたはAndroid搭載スマートフォンを音楽用（A2DP）のみの接続にすると、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- 以下の状況では、充電式電池の残量が正しく表示されないことがあります。正しく表示されない場合は、充電と放電を数回繰り返してください。正しく表示されるようになります。
  - 購入後に初めて使用するとき
  - 長期間使用しなかったとき
  - ソフトウェアアップデート直後

関連項目

- ランプ表示
- “Sound Connect”アプリを使う

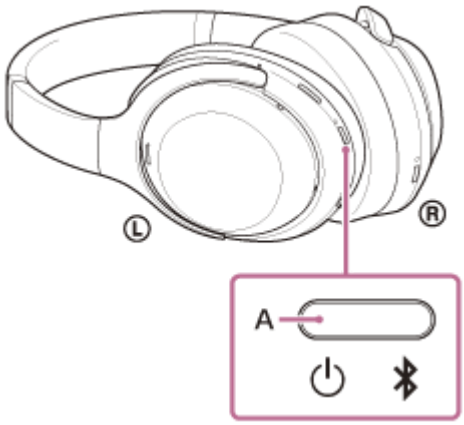
TP1002308435

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ヘッドセットの電源を入れる

1 ランプが青色に点滅するまで、電源ボタン（A）を約2秒以上押したままにする。



関連項目

- ヘッドセットの電源を切る

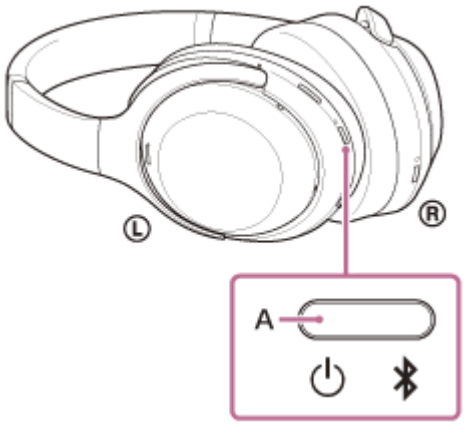
TP1002308436

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ヘッドセットの電源を切る

1 青色のランプが消灯するまで、電源ボタン（A）を約2秒以上押したままにする。



ヒント

- “Sound Connect”アプリからヘッドセットの電源を切ることもできます。
- ヘッドセットを装着しないまま15分経過すると、自動的にヘッドセットの電源が切れます。“Sound Connect”アプリを使うと、この設定を変更できます。
- ヘッドセットをカバンなどに収納するときは、電源を切ってください。装着検出が誤動作する場合があります。

関連項目

- ヘッドセットの電源を入れる
- “Sound Connect”アプリを使う

TP1002308437

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

BLUETOOTH接続をするには

BLUETOOTH機器に搭載されたBLUETOOTH機能を使って音楽や通話をワイヤレスで楽しめます。

ペアリング

BLUETOOTH機能を使うには、あらかじめ、接続する互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
ヘッドセットと機器を操作してペアリングを行ってください。

ペアリング済みの機器と接続する

一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません。すでにヘッドセットとのペアリングが済んでいる機器それぞれの方法で接続してください。

ペアリングや接続の操作について詳しくは、下記関連項目からご覧ください。

関連項目

- Android搭載スマートフォンをペアリングしてから接続する
- iPhoneをペアリングしてから接続する
- パソコンをペアリングしてから接続する（Windows® 11）
- パソコンをペアリングしてから接続する（Mac）
- BLUETOOTH機器をペアリングしてから接続する
- ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- ペアリング済みのiPhoneと接続する
- ペアリング済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- ペアリング済みのパソコンと接続する （Mac）
- ペアリング済みのBLUETOOTH機器と接続する

TP1002308440

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

“Sound Connect”アプリを使って接続する

お使いのAndroid搭載スマートフォン／iPhoneで“Sound Connect”アプリを起動して、ヘッドセットとスマートフォンやiPhoneを接続できます。

Sony Sound Connect

ご注意

- “Sound Connect”アプリを使って接続したときに、一部のスマートフォンやiPhoneで接続が不安定になる場合があります。その場合は「ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する」「ペアリング済みのiPhoneと接続する」の手順に従って接続してください。

関連項目

- Android搭載スマートフォンをペアリングしてから接続する
- iPhoneをペアリングしてから接続する
- パソコンをペアリングしてから接続する（Windows® 11）
- パソコンをペアリングしてから接続する（Mac）
- ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- ペアリング済みのiPhoneと接続する
- “Sound Connect”アプリを使う

TP1002308441

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

Android搭載スマートフォンをペアリングしてから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

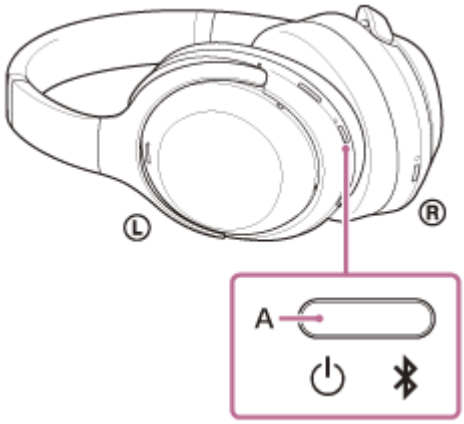
- ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンが1 m（3.2 フィート）以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットの状態を確認する。

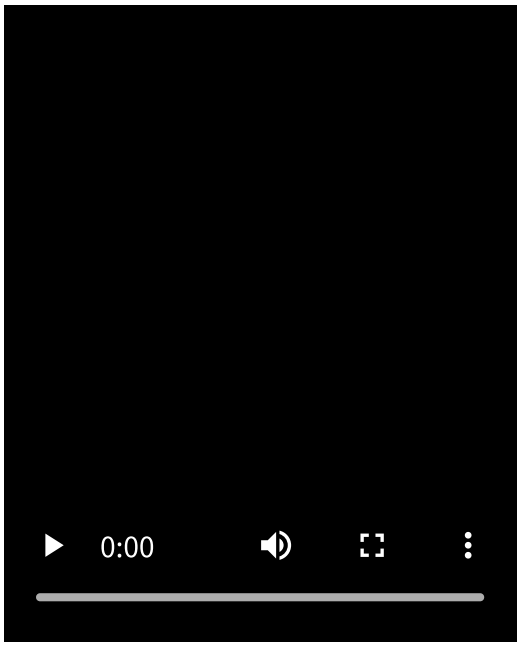
以下の場合はヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。手順2に進んでください。

- お買い上げ後に初めてペアリングするとき
- ヘッドセットを初期化した後でペアリング情報がないとき

2台目以降のペアリングを行うときなど、ヘッドセットにほかのペアリング情報がある場合は、手動でペアリングモードにします。BLUETOOTHボタン（A）を約7秒以上押したままにします。



ランプが青色に2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 **Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。**

3 **Android搭載スマートフォンの画面で、次の項目を選ぶ。**

［設定］-［機器接続］-［Bluetooth］



4 **スイッチボタンをタッチしてBLUETOOTH機能をオンにする。**



5 **［WH-1000XM4C］をタッチする。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとスマートフォンが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する」をご覧ください。
Android搭載スマートフォンの画面に［WH-1000XM4C］が表示されない場合は、もう一度手順3から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBLUETOOTH機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度BLUETOOTH機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。9台目の機器を新たにペアリングすると、接続日時が最も古いペアリング情報が新たな機器の情報に上書きされます。
  - 接続相手のBLUETOOTH機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

TP1002308442

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

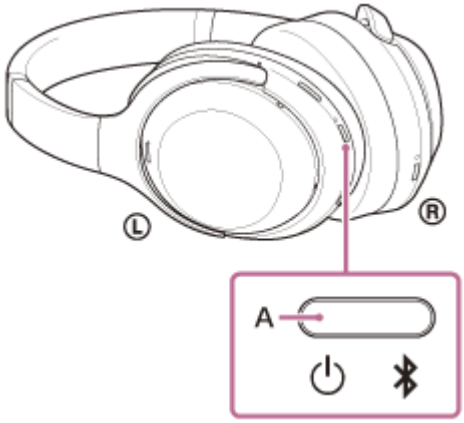
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ペアリング済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する

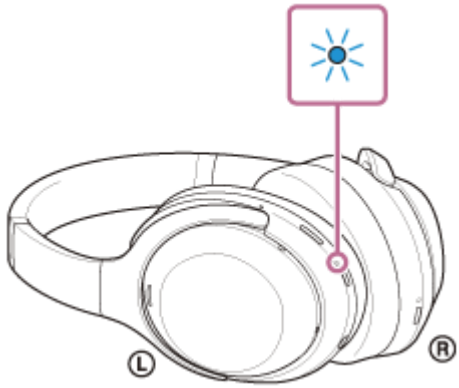
1 Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

電源ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプが青色に点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
Android搭載スマートフォンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 Android搭載スマートフォンの画面で、次の項目を選ぶ。

［設定］-［機器接続］-［Bluetooth］



4 **スイッチボタンをタッチしてBLUETOOTH機能をオンにする。**



5 **［WH-1000XM4C］をタッチする。**



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBLUETOOTH機能をオフにするか電源を切ってください。
- Android搭載スマートフォンと接続できなくなった場合は、Android搭載スマートフォンでヘッドセットのペアリング情報を削除してください。その後、もう一度ペアリングしてください。Android搭載スマートフォンの操作については、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- Android搭載スマートフォンをペアリングしてから接続する
- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）

TP1002308443

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

iPhoneをペアリングしてから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

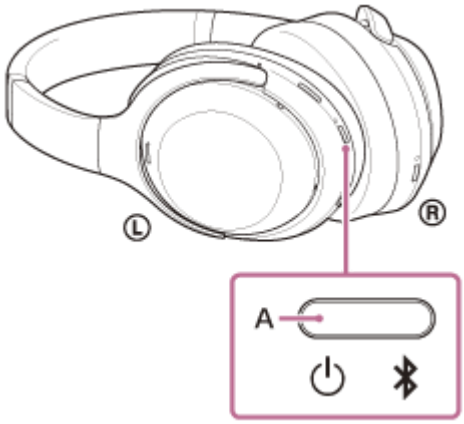
- ヘッドセットとiPhoneが1 m（3.2 フィート）以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するiPhoneの取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットの状態を確認する。

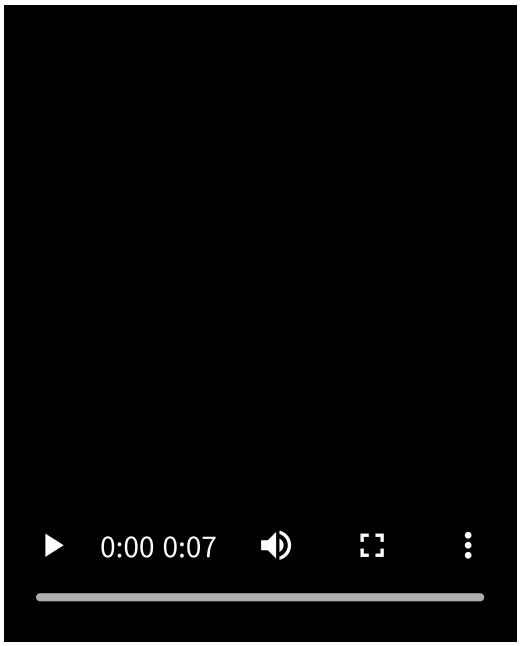
以下の場合はヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。手順2に進んでください。

- お買い上げ後に初めてペアリングするとき
- ヘッドセットを初期化した後でペアリング情報がないとき

2台目以降のペアリングを行うときなど、ヘッドセットにほかのペアリング情報がある場合は、手動でペアリングモードにします。BLUETOOTHボタン（A）を約7秒以上押したままにします。



ランプが青色に2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 **iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。**

3 **iPhoneの画面で、［設定］の［Bluetooth］をタッチする。**



4 **スイッチボタンをタッチしてBLUETOOTH機能をオンにする。**



5 **［WH-1000XM4C］をタッチする。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとiPhoneが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「ペアリング済みのiPhoneと接続する」をご覧ください。

iPhoneの画面に［WH-1000XM4C］が表示されない場合は、もう一度手順3から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBLUETOOTH機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度BLUETOOTH機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。9台目の機器を新たにペアリングすると、接続日時が最も古いペアリング情報が新たな機器の情報に上書きされます。
  - 接続相手のBLUETOOTH機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- ペアリング済みのiPhoneと接続する
- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

TP1002308444

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

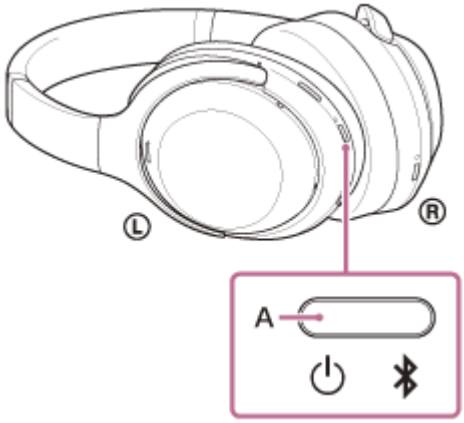
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ペアリング済みのiPhoneと接続する

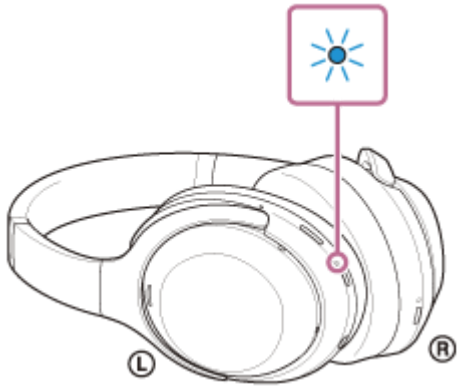
1 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

電源ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプが青色に点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
iPhoneで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 iPhoneの画面で、［設定］の［Bluetooth］をタッチする。



4 **スイッチボタンをタッチしてBLUETOOTH機能をオンにする。**



5 **［WH-1000XM4C］をタッチする。**



接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBLUETOOTH機能をオフにするか電源を切ってください。
- iPhoneと接続できなくなった場合は、iPhoneでヘッドセットのペアリング情報を削除してください。その後、もう一度ペアリングしてください。iPhoneの操作については、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- iPhoneをペアリングしてから接続する
- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）

TP1002308445

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

パソコンをペアリングしてから接続する（Windows® 11）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

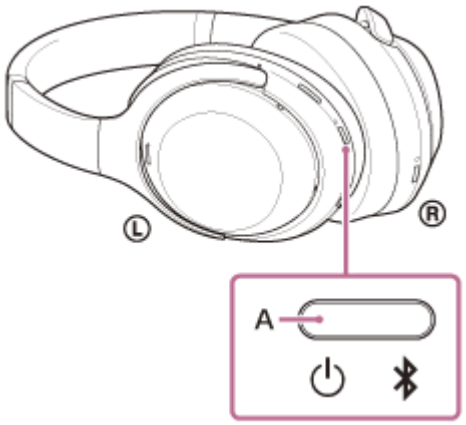
- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBLUETOOTH機能が搭載されている。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用する場合は、パソコンに通話の接続（HFP/HSP）対応のBLUETOOTH機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m（3.2 フィート）以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBLUETOOTHアダプターをオンにする必要があります。以下の場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
  - BLUETOOTHアダプターをオンにする方法がわからない。
  - お使いのパソコンにBLUETOOTHアダプターが内蔵されているかを知りたい。

1 ヘッドセットの状態を確認する。

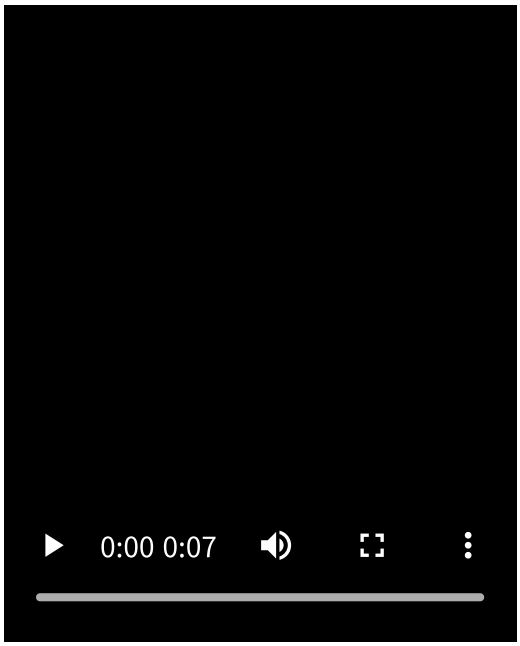
以下の場合はヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。手順2に進んでください。

- お買い上げ後に初めてペアリングするとき
- ヘッドセットを初期化した後でペアリング情報がないとき

2台目以降のペアリングを行うときなど、ヘッドセットにほかのペアリング情報がある場合は、手動でペアリングモードにします。BLUETOOTHボタン（A）を約7秒以上押したままにします。



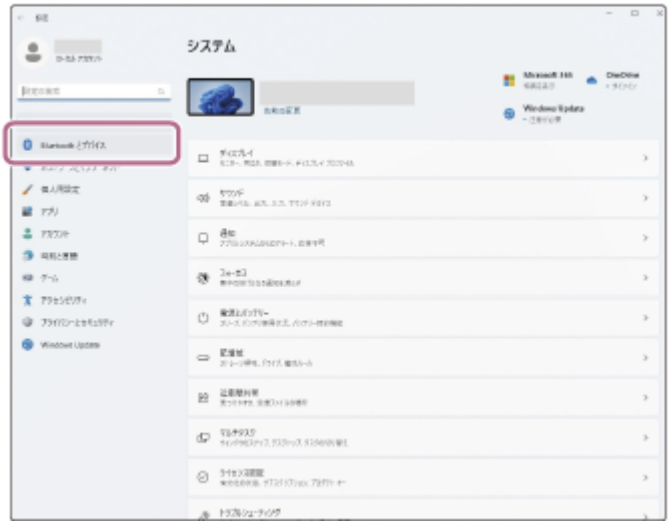
ランプが青色に2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



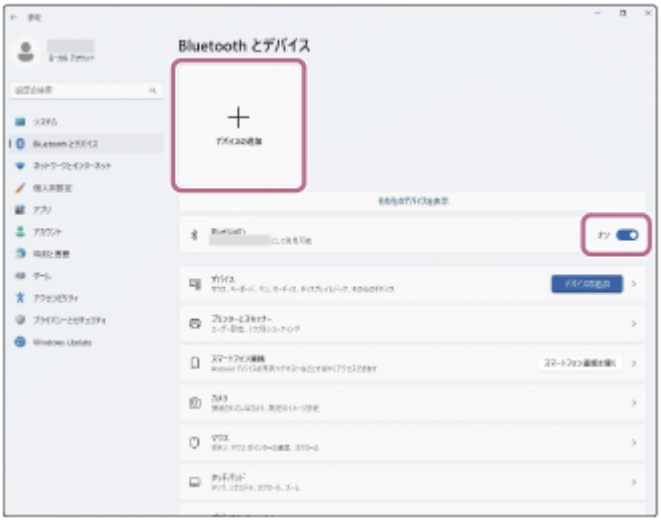
2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

3 パソコンの画面で、［スタート］ボタン –［設定］の順にクリックする。

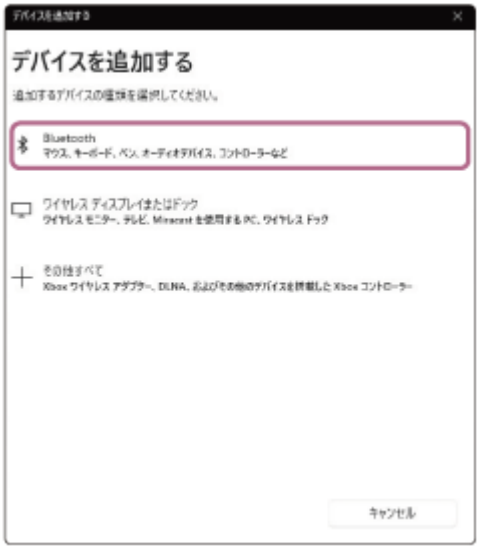
4 ［Bluetoothとデバイス］をクリックする。



5 ［Bluetooth］スイッチをクリックしてBLUETOOTH機能をオンにする。［デバイスの追加］をクリックする。



6 **［Bluetooth］をクリックする。**



7 **［WH-1000XM4C］をクリックする。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「ペアリング済みのパソコンと接続する（Windows 11）」をご覧ください。
パソコンの画面に［WH-1000XM4C］が表示されない場合は、もう一度手順3から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBLUETOOTH機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度BLUETOOTH機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。9台目の機器を新たにペアリングすると、接続日時が最も古いペアリング情報が新たな機器の情報に上書きされます。
  - 接続相手のBLUETOOTH機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- ペアリング済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- パソコンでビデオ通話する
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

TP1002308446

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

パソコンをペアリングしてから接続する（Mac）

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。

対応OS

macOS（バージョン12以降）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBLUETOOTH機能が搭載されている。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用する場合は、パソコンに通話の接続（HFP/HSP）対応のBLUETOOTH機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m（3.2 フィート）以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBLUETOOTHアダプターをオンにする必要があります。以下の場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
  - BLUETOOTHアダプターをオンにする方法がわからない。
  - お使いのパソコンにBLUETOOTHアダプターが内蔵されているかを知りたい。

- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
  パソコンのスピーカーがオフになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。
  ：スピーカーオフアイコン
  パソコンのスピーカーがオンになっている状態のアイコンは以下です。

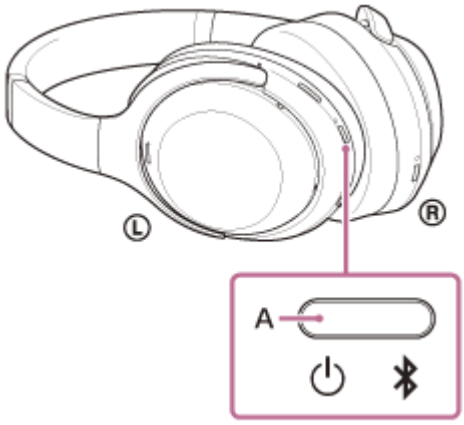


1 ヘッドセットの状態を確認する。

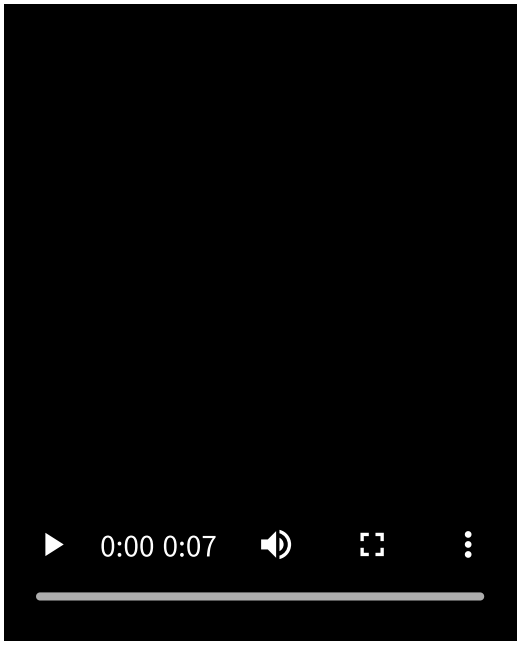
以下の場合はヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。手順2に進んでください。

- お買い上げ後に初めてペアリングするとき
- ヘッドセットを初期化した後でペアリング情報がないとき

2台目以降のペアリングを行うときなど、ヘッドセットにほかのペアリング情報がある場合は、手動でペアリングモードにします。BLUETOOTHボタン（A）を約7秒以上押したままにします。



ランプが青色に2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

3 パソコンの画面下のDockで、以下の順に選ぶ。
［システム環境設定］–［Bluetooth］

：システム環境設定アイコン



4 **［Bluetooth］画面から［WH-1000XM4C］を選び、［接続］をクリックする。**



パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。
互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「ペアリング済みのパソコンと接続する （Mac）」をご覧ください。
パソコンの画面に［WH-1000XM4C］が表示されない場合は、もう一度手順3から操作してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBLUETOOTH機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度BLUETOOTH機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。9台目の機器を新たにペアリングすると、接続日時が最も古いペアリング情報が新たな機器の情報に上書きされます。
  - 接続相手のBLUETOOTH機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。
- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- ペアリング済みのパソコンと接続する （Mac）
- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- パソコンでビデオ通話する
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

TP1002308447

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ペアリング済みのパソコンと接続する（Windows 11）

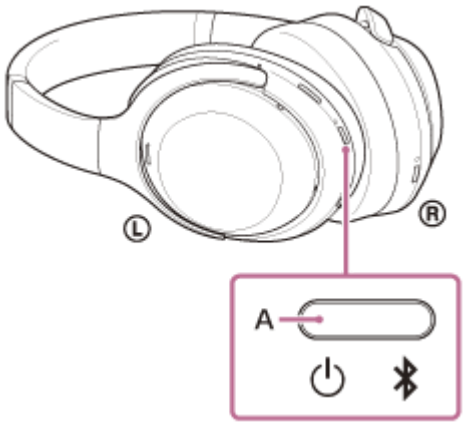
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBLUETOOTHアダプターをオンにする必要があります。以下の場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
  - BLUETOOTHアダプターをオンにする方法がわからない。
  - お使いのパソコンにBLUETOOTHアダプターが内蔵されているかを知りたい。

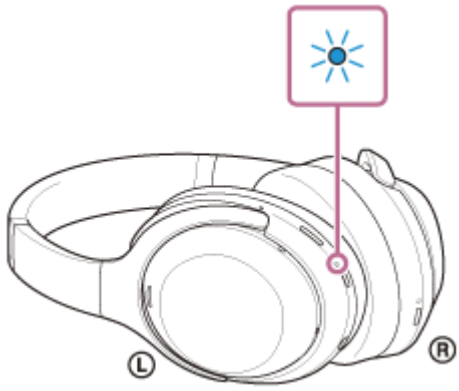
1 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

電源ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。

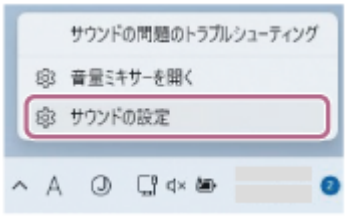


電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプが青色に点滅します。

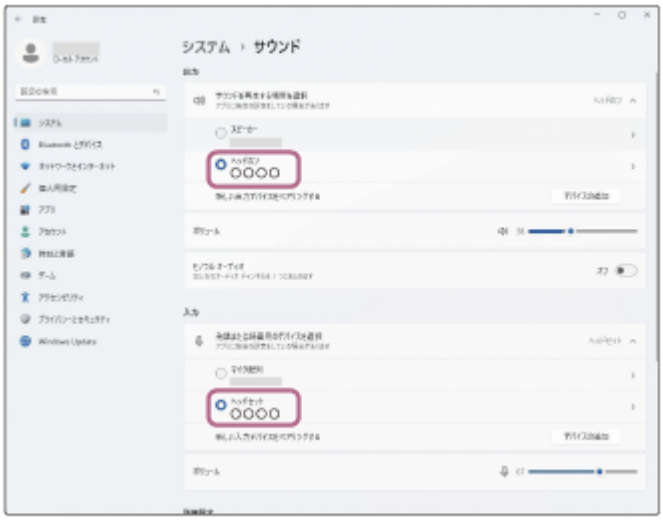


前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 パソコンの画面で、ツールバーのスピーカーアイコンを右クリックして［サウンドの設定］を選ぶ。

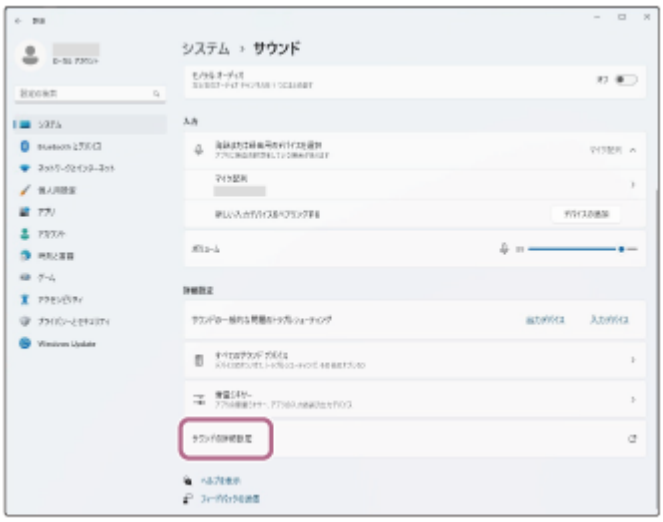


4 ［サウンド］画面の［出力］および［入力］で［WH-1000XM4C］を選ぶ。

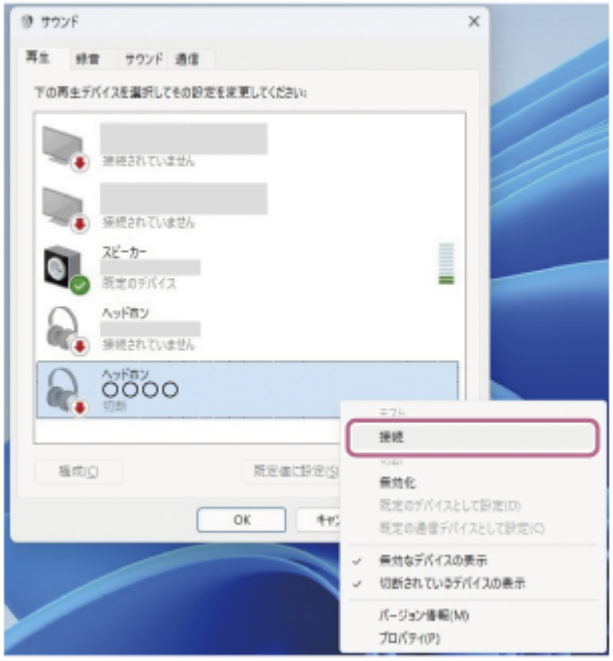


互いの機器へのペアリングが完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
［出力］および［入力］に［WH-1000XM4C］が表示されていないときは手順5に進んでください。

5 ［サウンドの詳細設定］をクリックする。

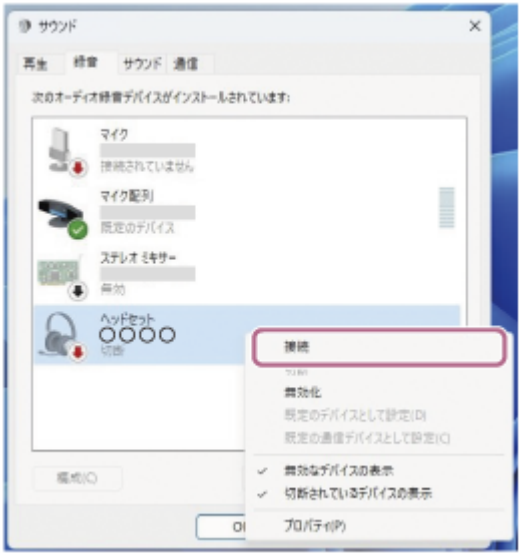


6 ［サウンド］画面の［再生］タブで［WH-1000XM4C］を選んで右クリックし、表示されたメニューから［接続］を選ぶ。



接続が完了します。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

7 ［録音］タブで［WH-1000XM4C］を選んで右クリックし、表示されたメニューから［接続］を選ぶ。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBLUETOOTH機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報を削除してください。その後、もう一度ペアリングしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- パソコンをペアリングしてから接続する（Windows® 11）
- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）

TP1002308448

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ペアリング済みのパソコンと接続する （Mac）

対応OS

macOS（バージョン12以降）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

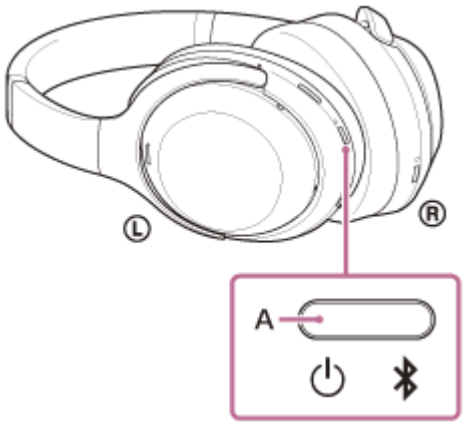
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBLUETOOTHアダプターをオンにする必要があります。以下の場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
  - BLUETOOTHアダプターをオンにする方法がわからない。
  - お使いのパソコンにBLUETOOTHアダプターが内蔵されているかを知りたい。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
  パソコンのスピーカーがオフになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。
  ：スピーカーオフアイコン
  パソコンのスピーカーがオンになっている状態のアイコンは以下です。



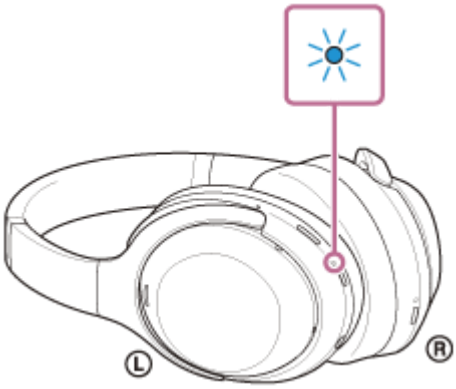
1 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

電源ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプが青色に点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 パソコンの画面下のDockで、以下の順に選ぶ。
［システム環境設定］–［Bluetooth］

：システム環境設定アイコン



4 ［Bluetooth］画面で、パソコンのControlボタンを押しながら［WH-1000XM4C］をクリックし、ポップアップメニューから［接続］を選ぶ。



接続が完了します。 接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBLUETOOTH機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットのペアリング情報を削除してください。その後、もう一度ペアリングしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- パソコンをペアリングしてから接続する（Mac）
- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）

TP1002308449

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

BLUETOOTH機器をペアリングしてから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器をペアリングしてください。
操作をはじめる前に、以下を確認してください。

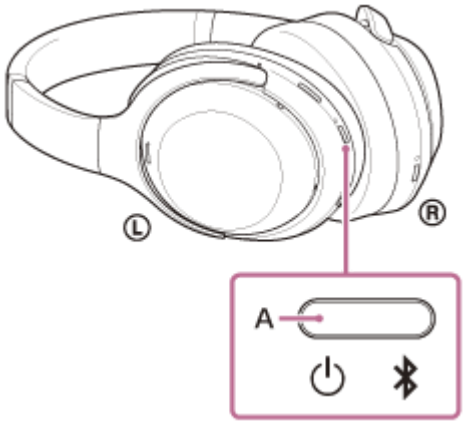
- ヘッドセットとBLUETOOTH機器が1 m（3.2 フィート）以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するBLUETOOTH機器の取扱説明書を準備する。

1 ヘッドセットの状態を確認する。

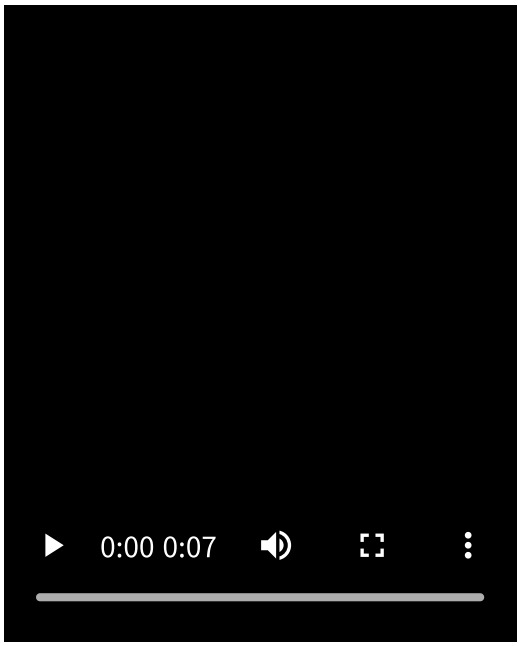
以下の場合はヘッドセットは自動的にペアリングモードになります。手順2に進んでください。

- お買い上げ後に初めてペアリングするとき
- ヘッドセットを初期化した後でペアリング情報がないとき

2台目以降のペアリングを行うときなど、ヘッドセットにほかのペアリング情報がある場合は、手動でペアリングモードにします。BLUETOOTHボタン（A）を約7秒以上押したままにします。



ランプが青色に2回ずつ点滅を繰り返します。音声ガイダンス「ペアリングモード」が流れます。



2 BLUETOOTH機器でペアリング操作を行い、ヘッドセットを検索する。

BLUETOOTH機器の画面の検出機器一覧に［WH-1000XM4C］と表示されます。
表示されない場合は、もう一度手順1から行ってください。

3 BLUETOOTH機器の画面に表示されている［WH-1000XM4C］を選び、互いの機器をペアリングする。

パスキー*を要求された場合は「0000」を入力してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

4 BLUETOOTH機器を操作してBLUETOOTH接続する。

ペアリングが完了すると自動的にヘッドセットと接続される機器もあります。
接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
接続されない場合は、「ペアリング済みのBLUETOOTH機器と接続する」をご覧ください。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリングしたBLUETOOTH機器の情報をすべて削除するには、「初期化する」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内にペアリングを完了しなかった場合、ヘッドセットのペアリングモードは解除されます。この場合、電源をOFFにしてもう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度BLUETOOTH機器をペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合はもう一度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が削除されてしまったとき
  - 9台目の機器をペアリングしたとき
    ヘッドセットは合計8台までの機器をペアリングすることができます。9台目の機器を新たにペアリングすると、接続日時が最も古いペアリング情報が新たな機器の情報に上書きされます。
  - 接続相手のBLUETOOTH機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
  - ヘッドセットを初期化したとき
    すべてのペアリング情報が削除されます。この場合は、接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除して、もう一度ペアリングをしてください。

- ヘッドセットは複数の機器をペアリングできますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- ペアリング済みのBLUETOOTH機器と接続する
- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

TP1002308450

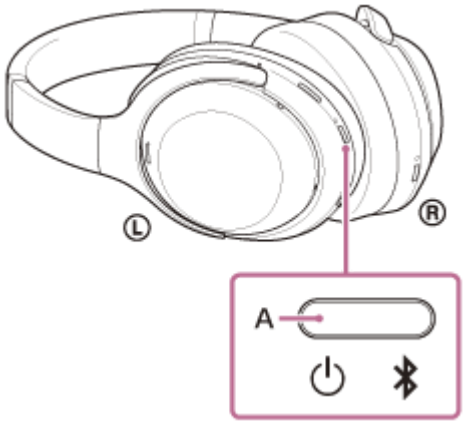
5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

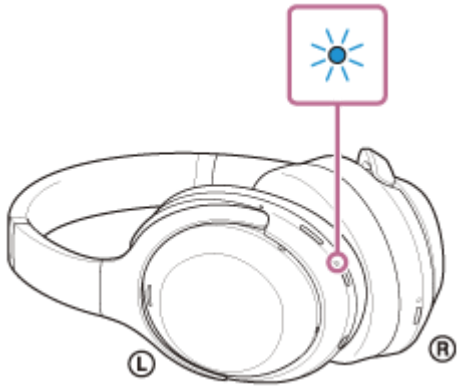
ペアリング済みのBLUETOOTH機器と接続する

1 ヘッドセットの電源を入れる。

電源ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
ボタンから指を離したあともランプが青色に点滅します。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。
BLUETOOTH機器で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順2に進んでください。

2 BLUETOOTH機器を操作してBLUETOOTH接続する。

BLUETOOTH機器の操作については、お使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。
接続すると、接続が完了したことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBLUETOOTH機能をオフにするか電源を切ってください。

- BLUETOOTH機器と接続できなくなった場合は、BLUETOOTH機器でヘッドセットのペアリング情報を削除してください。その後、もう一度ペアリングしてください。BLUETOOTH機器の操作については、BLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- BLUETOOTH機器をペアリングしてから接続する
- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）

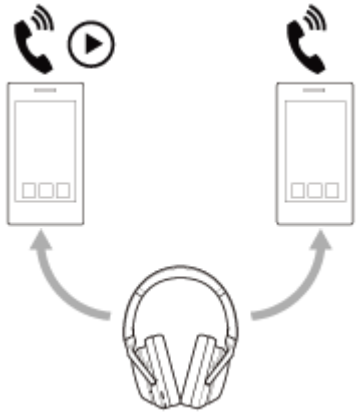
TP1002308451

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

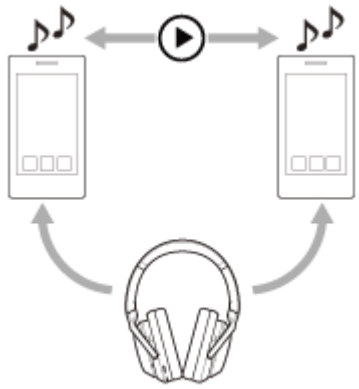
2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）

ヘッドセットに2台の機器を同時にBLUETOOTH接続して、以下のようなことができます。

- 2台のスマートフォンの着信を待ち受ける
  ヘッドセットで一方のスマートフォンで再生した音楽を聞き、両方のスマートフォンの着信を待ち受けし、着信があれば通話できます。



- 2台の機器の音楽再生を切り替える
  一方の機器からの音楽再生を、BLUETOOTH接続をし直すことなく、もう一方の機器からの再生に切り替えることができます。



2台の機器を同時にBLUETOOTH接続する

接続する前に、2台の機器のうちいずれか一方に“Sound Connect”アプリがインストールされていることを確認してください。

1. **ヘッドセットと2台の機器を、それぞれペアリングする。**
2. **“Sound Connect”アプリがインストールされている機器を操作して、ヘッドセットとBLUETOOTH接続する。**
3. **“Sound Connect”アプリで、［2台の機器と同時に接続］をオンにする。**
4. **2台目の機器を操作して、ヘッドセットとBLUETOOTH接続する。**

2台の機器をBLUETOOTH接続した状態で、ペアリング済みの3台目の機器を操作してヘッドセットとBLUETOOTH接続しようとすると次のことがおきます。
最後に音楽再生していた機器とはBLUETOOTH接続が維持されます。
もう一方の機器とのBLUETOOTH接続が切断されます。
その後、3台目の機器がヘッドセットとBLUETOOTH接続されます。

2台の機器をBLUETOOTH接続した状態での音楽再生

- ヘッドセットを操作して音楽を再生する場合、最後に再生していた機器からの音楽再生になります。
- もう一方の機器から音楽を再生したいときは、音楽再生している機器の再生を停止し、もう一方の機器を操作して音楽を再生します。
  1台目の機器で音楽を再生している状態で、2台目の機器を操作して再生を始めても、ヘッドセットからは1台目からの音楽が継続して聞こえます。この状態で1台目の再生を停止すると、2台目からの音楽を聞くことができます。

2台の機器をBLUETOOTH接続した状態での通話

- ヘッドセットに2台のスマートフォンを同時にBLUETOOTH接続すると、2台とも着信待ち受け状態になります。
- 1台目の機器に着信があると、着信音はヘッドセットから聞こえます。
  ヘッドセットで通話をしているときに、2台目の機器に着信があると、着信音は2台目の機器から聞こえます。
  1台目の機器の通話を終了すると、2台目の機器からの着信音がヘッドセットから聞こえるようになります。

ご注意

- “Sound Connect”アプリを使用すると、先に再生していた機器の音楽再生を継続する設定ができます。

関連項目

- “Sound Connect”アプリを使う
- BLUETOOTH接続をするには
- 対応コーデックについて

TP1002308452

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）

1 **BLUETOOTH機器を操作してBLUETOOTH接続を切断する。**

通知音が鳴ります。

2 **ヘッドセットの電源を切る。**

通知音が鳴ります。

ヒント

- BLUETOOTH機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBLUETOOTH接続を切断する場合があります。

関連項目

- ヘッドセットの電源を切る

TP1002308454

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

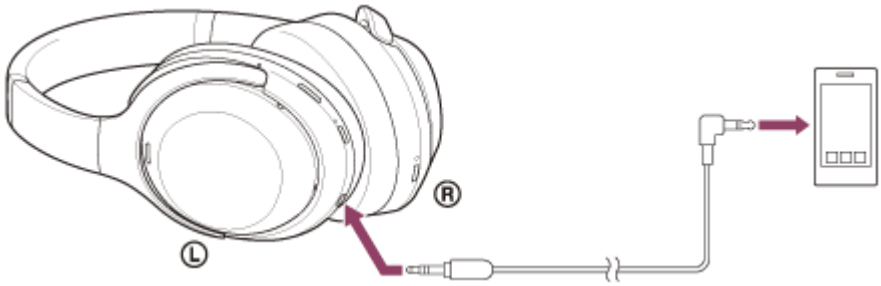
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

付属のヘッドホンケーブルをつないで使う

付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れると、ノイズキャンセリングヘッドホンとして使用できます。
ハイレゾリューション・オーディオ再生に対応しています。

1 ヘッドホンケーブル入力端子に、付属のヘッドホンケーブルで聞きたい機器をつなぐ。

L型プラグは必ず接続機器側につないでください。



2 ヘッドセットの電源を入れる。

電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。

ヒント

- ヘッドセットの電源を切っても、音楽を聞くことができます。この場合はノイズキャンセリング機能は使用できません。
- ハイレゾリューション・オーディオを再生するときや、ノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）などを使用するときは、ヘッドセットの電源を入れて使用してください。
- 付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れて使用しているときに、ヘッドセットからヘッドホンケーブルを抜くと、自動的に電源が切れます。
- 電話がかかってくると、着信音はヘッドセットから聞こえます。スマートフォンを操作して電話を受け、スマートフォンのマイクで通話してください。相手の音声はヘッドセットで聞くことができます。スマートフォンからヘッドホンケーブルを外すと、スマートフォンのマイクとスピーカーで通話ができます。

ご注意

- 必ず付属のヘッドホンケーブルをご使用ください。
- プラグ本体を持って端子に接続、または外してください。ケーブル部分を引っ張ると断線することがあります。
- プラグを端子の奥までしっかり差し込んでください。プラグをしっかり差し込まないと、音が聞こえないことがあります。
- ヘッドホンケーブル使用時は、BLUETOOTH機能は使用できません。
- ヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れているときは、クイックアテンションモード、スピーク・トゥ・チャットは使用できます。音量調節、再生／一時停止などの操作は再生機器側で行ってください。ヘッドセットの電源を切ると、クイックアテンションモード、スピーク・トゥ・チャットは使用できなくなります。
- 電源がオフのときはノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタンは使用できません。

- ヘッドホンケーブルをつないで通話するときは、スピーク・トゥ・チャットを無効にしてください。スピーク・トゥ・チャットを有効にしていると、相手の音声が聞こえなくなります。

関連項目

- ノイズキャンセリング機能を使う
- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能）
- すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

TP1002308455

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く

お使いのBLUETOOTH機器が次のプロファイルに対応していれば、BLUETOOTH接続した機器の音楽をヘッドセットで聞いたり、ヘッドセットから機器を操作したりできます。

- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
  高音質な音楽をワイヤレスで楽しめます。
- AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）
  音量調節などの操作ができます。

操作はBLUETOOTH機器によって異なることがあります。お使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

1 ヘッドセットとBLUETOOTH機器を接続する。

2 ヘッドセットを耳に装着する。

ヘッドセットを耳に装着する手順は、「ヘッドセットを装着する」をご覧ください。

3 BLUETOOTH機器を再生して、適度な音量に調節する。

4 ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。

- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になったら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

ヒント

- ヘッドセットはSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応のワンセグTVなどの音楽（または音声）を、ヘッドセットで聞くことができます。
- BLUETOOTH機器によっては、機器側で音量調節や音声出力先の設定が必要な場合があります。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。

ご注意

- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBLUETOOTH機器が誤動作する場合があります。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- 音楽再生時にできること（BLUETOOTH接続）
- ノイズキャンセリング機能を使う

TP1002308456

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

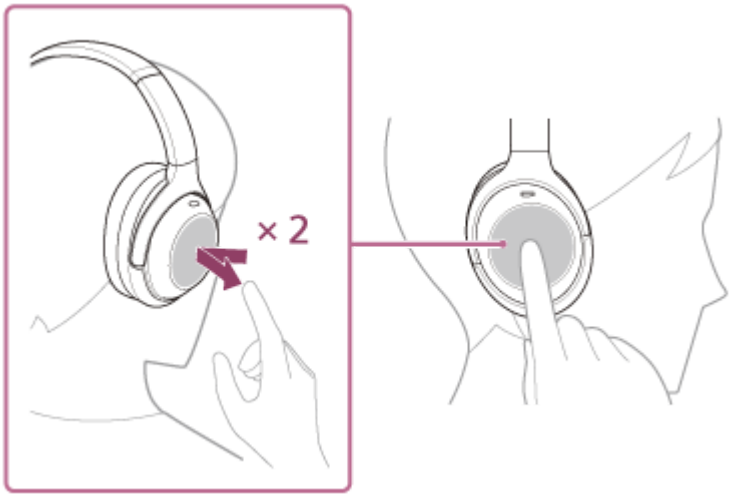
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

音楽再生時にできること（BLUETOOTH接続）

お使いのBLUETOOTH機器がAVRCPプロファイルによる機器操作機能に対応していれば、以下のような操作が可能です。BLUETOOTH機器によって利用できる機能は異なりますので、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

タッチセンサーコントロールパネルを使って、以下の操作ができます。

- 再生／一時停止：タッチセンサーコントロールパネルを約0.4秒間隔ですばやく2回タップします。



- 次の曲の頭出し：前にすべらせて離します。



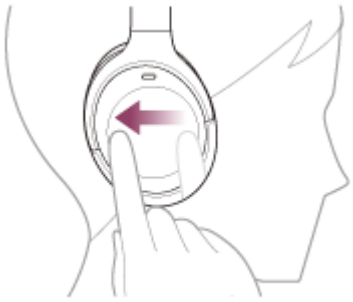
- 前（または再生中）の曲の頭出し：後ろにすべらせて離します。



- 早送り：前にすべらせて触れたまま止め、再生したい位置に来たら指を離します（早送りが始まるまでに多少時間がかかります）。



- 早戻し：後ろにすべらせて触れたまま止め、再生したい位置に来たら指を離します（早戻しが始まるまでに多少時間がかかります）。



- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になったら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

ご注意

- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBLUETOOTH機器が誤動作する場合があります。
- 接続する機器、使用する音楽ソフトやアプリによって利用できる機能が異なります。上記の操作をしても異なる動作をしたり、動作しない場合があります。

TP1002308457

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

360 Reality Audioについて

360 Reality Audioは、ソニーの360立体音響技術を使った新しい音楽体験です。
ボーカルやコーラス、楽器などの音源一つひとつに位置情報をつけ、球状の空間に配置。
アーティストの生演奏に囲まれているかのような、没入感のある立体的な音場を体感できます。

使用条件

iOSやAndroidを搭載したスマートフォンやタブレットに360 Reality Audioに対応した音楽ストリーミングサービスのアプリをダウンロードしてお使いください。サービスのアプリは、有料の場合があります。
“Sound Connect”アプリにより音場やヘッドセットの音響特性を最適化することで、よりリアルな臨場感を楽しめます。
360 Reality Audioについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://www.sony.net/360RA/

ご注意

- 一部の国や地域ではサービスを利用できません。

TP1002308458

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

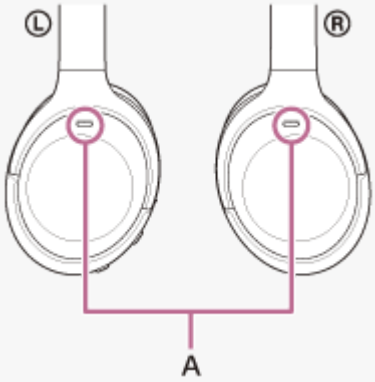
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ノイズキャンセリング機能とは

ノイズキャンセリング機能を使うと、乗り物内の騒音や室内の空調音などの外部の環境ノイズが低減して聞こえます。外部の環境ノイズと逆位相の音を発生させ、ノイズを打ち消すことで実現する技術です。

ご注意

- NCオプティマイザー機能により、装着状態や使用環境などの変化に応じて、ノイズキャンセリング性能が自動的に最適化されます。そのため、状況によってはノイズキャンセリング効果の変動を感じる場合があります。
- 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなったと感じられる場合があります。
- ヘッドセットを耳に装着しているとき、装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピッという音（ハウリング）が出たりすることがあります。この場合は、ヘッドセットを耳に装着し直してください。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音に対してもっとも効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 自動車、バスなどでご使用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- スマートフォンの影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、スマートフォンからヘッドセットを離してください。
- ヘッドセットの左右のユニットにあるマイク部（A）を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の効果が得られなくなったり、ピッという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部から手などを離してください。



ノイズキャンセリング機能の使いかたについて詳しくは、下記関連項目からご覧ください。

関連項目

- ノイズキャンセリング機能を使う

TP1002308459

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

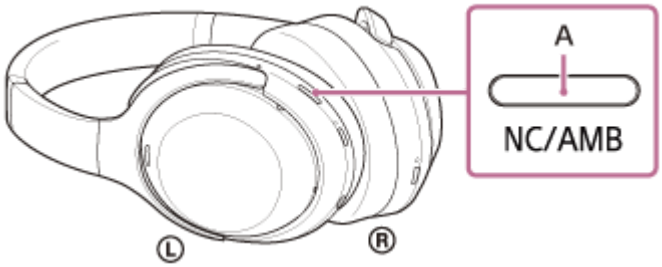
ノイズキャンセリング機能を使う

ノイズキャンセリング機能を使うと、周囲の雑音を気にせずに音楽を楽しむことができます。

1 ヘッドセットの電源を入れる。

電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、電源を入れると自動的にノイズキャンセリング機能が有効になります。

2 ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタン（A）を押して、ノイズキャンセリング機能の設定を切り替える。



ボタンを押すたびに機能が次のように切り替わります。

ノイズキャンセリング機能が有効になり、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が無効になります。
通知音が鳴ります。

外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が有効になり、ノイズキャンセリング機能が無効になります。
通知音が鳴ります。

ノイズキャンセリング機能および外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が無効になります。
通知音が鳴ります。

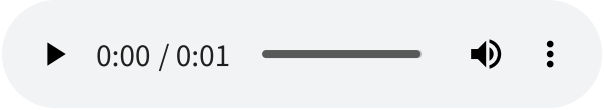
通知音を確認する

最新のブラウザ以外では再生できないことがあります。

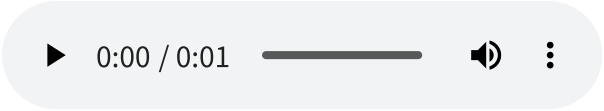
- ノイズキャンセリング機能が有効になったとき

0:00 / 0:00

- 外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が有効になったとき



- ノイズキャンセリング機能および外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が無効になったとき



取扱説明動画について

ノイズキャンセリング機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。音声での説明はありません。
中国大陸以外、日本以外の国・地域向けモデル：
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0110/h_zz/
中国大陸向けモデル：
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0110/zh-cn/
日本向けモデル：
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0110/ja/

ヒント

- BLUETOOTH接続でノイズキャンセリング機能を使用しているときにヘッドホンケーブルをつなぐと、BLUETOOTH機能はオフになります。ノイズキャンセリング機能は続けて使用できます。
- ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sound Connect”アプリでも変更できます。

関連項目

- 音声ガイダンスについて
- ヘッドセットの電源を入れる
- ノイズキャンセリング機能とは
- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能）
- “Sound Connect”アプリを使う

TP1002308460

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

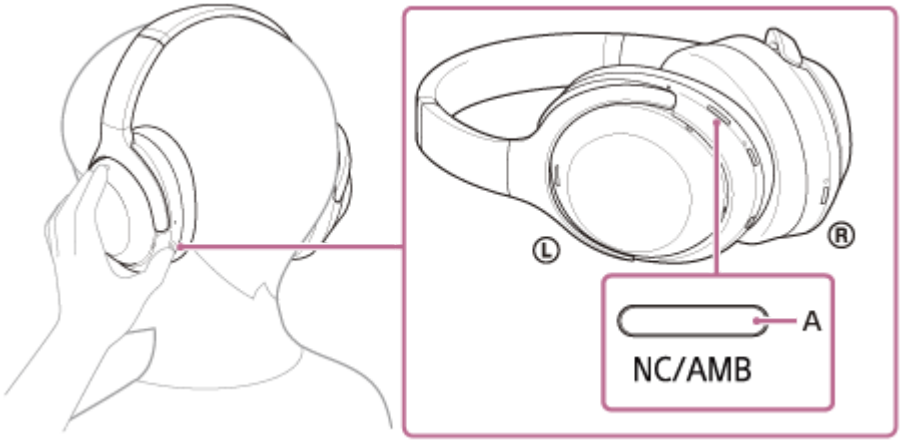
装着状態に合わせてノイズキャンセリング機能を最適化する（NCオプティマイザー）

顔の輪郭や髪型、めがね装用の有無などによるヘッドセットの装着状態を解析して、ノイズキャンセリング性能を最適な状態にします。
初めてヘッドセットを使用するときや、装着状態が変わったときは、NCオプティマイザーを実行することをおすすめします。

1 電源が入っている状態でヘッドセットを耳に装着する。



2 ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタン（A）を「最適化を開始」の音声ガイダンスが流れるまで約2秒間押したままにする。



最適化中はテスト信号が聞こえます。最適化が完了すると「最適化を完了」の音声ガイダンスが流れます。

ヒント

- 髪型を変えたり、常用しているめがねを外したりして装着状態が変わったときは、もう一度NCオプティマイザーを実行することをおすすめします。
- “Sound Connect”アプリからNCオプティマイザーを操作することもできます。

ご注意

- NCオプティマイザーを実行するときは、実際の使用時に近い状態でヘッドセットを耳に装着してください。実行中はヘッドセットにできるだけ触れないことをおすすめします。
- NCオプティマイザー実行中に、ヘッドセットが他の操作などを受け付けた場合は、実行が解除されます。

TP1002308481

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

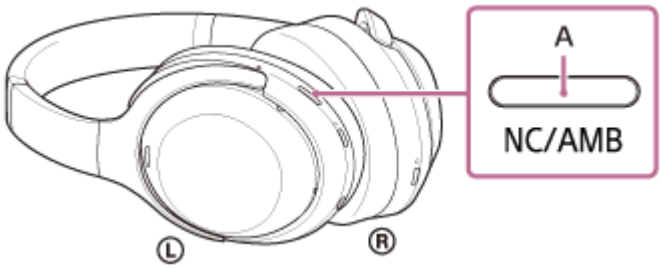
音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能）

左右のヘッドセットに内蔵されているマイクにより、周囲の音を聞き取りやすくし、周囲の音を確認しながら音楽を楽しむことができます。

1 ヘッドセットの電源を入れる。

電源が入ったことを知らせる通知音が鳴ります。
お買い上げ後初めてお使いになるときやヘッドセットを初期化した直後は、電源を入れると自動的にノイズキャンセリング機能が有効になります。

2 ノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタン（A）を押して、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）に切り替える。



ボタンを押すたびに機能が次のように切り替わります。

外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が有効になり、ノイズキャンセリング機能が無効になります。
通知音が鳴ります。



ノイズキャンセリング機能が有効になり、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が無効になります。
通知音が鳴ります。

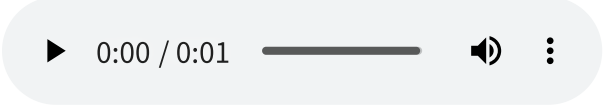


ノイズキャンセリング機能および外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が無効になります。
通知音が鳴ります。

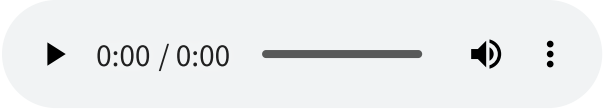
通知音を確認する

最新のブラウザ以外では再生できないことがあります。

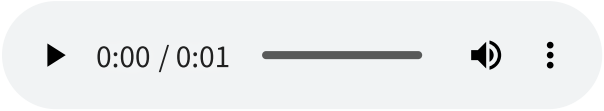
- 外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が有効になったとき



- ノイズキャンセリング機能が有効になったとき



- ノイズキャンセリング機能および外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）が無効になったとき



取扱説明動画について

外音取り込み機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。音声での説明はありません。
中国大陸以外、日本以外の国・地域向けモデル：
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0110/h_zz/
中国大陸向けモデル：
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0110/zh-cn/
日本向けモデル：
https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0110/ja/

ヒント

- “Sound Connect”アプリで変更した外音取り込み機能の設定はヘッドセットに記憶されます。“Sound Connect”アプリがインストールされていない機器の音楽を聞くときでも、外音取り込み機能を有効にすれば記憶された設定で聞くことができます。

ご注意

- 外音取り込み機能を使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、外音取り込み機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットをしっかりと耳に装着してください。
- 外音取り込み機能を有効にすると、周囲の環境によって風切り音が大きくなることがあります。その場合は、“Sound Connect”アプリで外音の取り込み音量を下げてください。それでも風切り音が大きいときは、外音取り込み機能を無効にしてください。
- 外音取り込み機能が有効のときに、ノイズキャンセリング機能用マイクに指や髪などが触れると、大きな音が聞こえる場合があります。

関連項目

- 音声ガイダンスについて
- ノイズキャンセリング機能を使う
- “Sound Connect”アプリを使う

TP1002308461

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

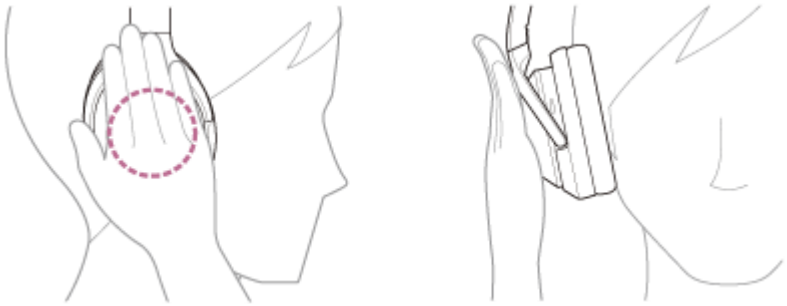
すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）

再生中の音楽や通話音声、着信音の音量を下げて、周囲の音をさらに聞き取りやすくします。電車内のアナウンスなどをすぐに聞きたいときに便利です。

クイックアテンションモードを使用するには

ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネル（A）全体を手で触れてください。クイックアテンションモードは、タッチセンサーコントロールパネルに触れている間だけ動作します。





クイックアテンションモードを解除するには

タッチセンサーコントロールパネルから手を離します。

ご注意

- 以下のような場合は正しく動作しないことがあります。
  - タッチセンサーコントロールパネル全体が覆われていない。



  - タッチセンサーコントロールパネルに触れていない。



- クイックアテンションモードを使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、クイックアテンションモードが正常に動作しない場合があります。ヘッドセットをしっかりと耳に装着してください。
- 通話中にクイックアテンションモードは使用できません。

TP1002308462

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

スピーク・トゥ・チャットは、ヘッドセットを装着したままで会話相手の音声を聞きやすくする機能です。“Sound Connect”アプリで設定します。
スピーク・トゥ・チャットモードが起動している間は、再生中の音楽を一時停止し、相手の音声をマイクで取り込み聞きやすくします。
ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出しない状態が一定時間続くと、自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが終了します。
その前に終了したいときは、ヘッドセットのボタンやタッチセンサーコントロールパネルを操作してください。



スピーク・トゥ・チャットを有効にするには

スピーク・トゥ・チャットモードを起動するには、事前にスピーク・トゥ・チャットを有効にしておく必要があります。
お買い上げ時はスピーク・トゥ・チャットは無効に設定されています。有効にするには、“Sound Connect”アプリで設定を変更してください。

スピーク・トゥ・チャットを無効にするには

無効にするには、“Sound Connect”アプリで設定を変更してください。

ヒント

- “Sound Connect”アプリを使用すると、有効／無効の切り替え、音声自動検出の感度変更、スピーク・トゥ・チャットモードが終了するまでの時間変更ができます。お買い上げ時の設定では、終了するまでの時間は約15秒となっています。

ご注意

- スピーク・トゥ・チャットモードは、ヘッドセット装着者の発話を検出すると起動します。まれに、歯磨き、電動歯ブラシ、電動マッサージ器、電動シェーバー、咳、鼻歌などの振動に反応して、意図せず起動することがあります。スピーク・トゥ・チャットが起動することが多い場合は、スピーク・トゥ・チャットモードを「低感度」に設定してください。
- 周囲の騒音などにより、ヘッドセット装着者の発話が検出されず、スピーク・トゥ・チャットモードが起動しないことがあります。この場合は、長めに発話したり、声量を大きくしてください。ただし、航空機内など騒音が非常に大きいところでは、長めに話したり、声量を大きくしてもスピーク・トゥ・チャットモードが起動しないことがあります。

関連項目

- “Sound Connect”アプリを使う

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

電話を受ける

お使いのスマートフォンが以下のBLUETOOTHプロファイルに対応していれば、ヘッドセットとBLUETOOTH接続してハンズフリー通話ができます。

- HFP：Hands-free Profile
- HSP：Headset Profile

- スマートフォンがHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォンによって異なることがあります。お使いのスマートフォンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

着信音について

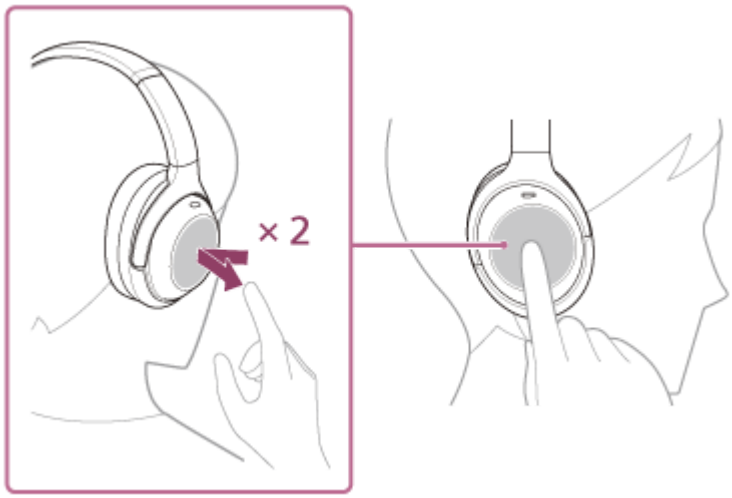
着信すると、ヘッドセットから着信音が聞こえ、ランプが青色で速く点滅します。
ヘッドセットから聞こえる着信音は、スマートフォンによって以下のいずれかとなります。

- ヘッドセットの着信音
- スマートフォンの着信音
- スマートフォンのBLUETOOTH接続専用の着信音

1 あらかじめヘッドセットとスマートフォンをBLUETOOTH接続しておく。

2 着信したら、タッチセンサーコントロールパネルを約0.4秒間隔ですばやく2回タップして電話を受ける。

音楽再生中に着信すると、音楽が一時停止し、着信音が聞こえます。



左ユニットのマイクを通して会話できます。

ヘッドセットから着信音が聞こえない場合は

- HFPまたはHSPで接続されていない可能性があります。スマートフォン側の接続状況を確認してください。
- 再生中の音楽が自動的に一時停止しない場合は、再生機器を操作して一時停止してください。

3 タッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。

- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になったら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

4 **通話が終了したら、タッチセンサーコントロールパネルを約0.4秒間隔ですばやく2回タップして電話を切る。**

音楽再生中に着信したときは、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- スマートフォン／携帯電話を操作して電話を受けた場合、機種によっては、スマートフォン／携帯電話での通話が優先されることがあります。HFPまたはHSP接続の場合、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネル部分を音声が切り替わるまで触れたままにするか、スマートフォン／携帯電話を操作して、通話をヘッドセットに切り替えてください。
- 通話の音量は、待ち受け中には調節できません。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。通話中に音量を変えても、音楽再生時の音量は変わりません。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に着信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォンは、ヘッドセットから50 cm（19.68 インチ）以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォンが近いとノイズが入ることがあります。
- 通話時にヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- 電話をかける
- 通話時にできること

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

電話をかける

お使いのスマートフォンが以下のBLUETOOTHプロファイルに対応していれば、ヘッドセットとBLUETOOTH接続してハンズフリー通話ができます。

- HFP：Hands-free Profile
- HSP：Headset Profile

- スマートフォンがHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォンによって異なることがあります。お使いのスマートフォンの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- お使いの接続機器やアプリケーションによっては、ヘッドセットの操作で機能が正しく動作しない場合があります。

1 ヘッドセットとスマートフォンをBLUETOOTH接続する。

2 お使いのスマートフォンを操作して発信する。

発信すると、ヘッドセットから発信音が聞こえます。
音楽再生中に発信すると、音楽が一時停止します。
ヘッドセットから発信音が聞こえない場合は、スマートフォンを操作してヘッドセットに音声を切り替えてください。
左ユニットのマイクを通して会話できます。

3 タッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。

- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



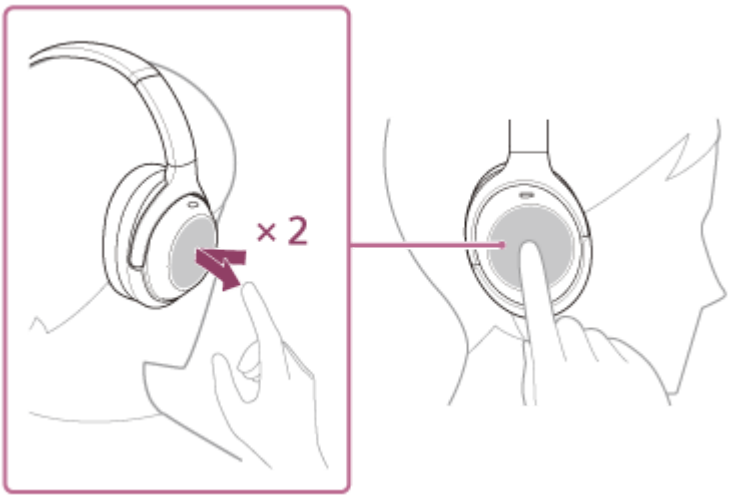
- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になったら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

4 **通話が終了したら、タッチセンサーコントロールパネルを約0.4秒間隔ですばやく2回タップして電話を切る。**



音楽再生中に発信したときは、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- 通話の音量は、待ち受け中には調節できません。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。通話中に音量を変えても、音楽再生時の音量は変わりません。

ご注意

- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、音楽再生中に発信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォンは、ヘッドセットから50 cm（19.68 インチ）以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォンが近いとノイズが入ることがあります。
- 通話時にヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- 電話を受ける
- 通話時にできること

TP1002308465

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

通話時にできること

通話時にできることは、お使いのスマートフォンが対応しているプロファイルによって異なります。また、プロファイルが同じでも、スマートフォンによって利用できる機能が異なります。
お使いの接続機器やアプリケーションによっては、タッチセンサーコントロールパネルの操作で機能が正しく動作しない場合があります。
お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンがHFP（Hands-free Profile）対応のとき

待ち受け中／音楽再生中

- タッチセンサーコントロールパネルに約1秒間触れたままにすると、スマートフォン／携帯電話のボイスダイヤル機能や、Android搭載スマートフォンのGoogleアプリ、iPhoneのSiriを起動します。



発信中

- タッチセンサーコントロールパネルを約0.4秒間隔ですばやく2回タップすると、発信を中断します。
- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると、通話機器をヘッドセット⇔スマートフォン／携帯電話で切り替えます。

着信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、電話を受けます。
- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると、着信を拒否します。

通話中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、通話を終了します。
- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると、通話機器をヘッドセット⇔スマートフォン／携帯電話で切り替えます。

スマートフォンがHSP（Headset Profile）対応のとき

発信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、発信を中断します。

着信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、電話を受けます。

通話中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、通話を終了します。

関連項目

- 電話を受ける
- 電話をかける

TP1002308466

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

パソコンでビデオ通話する

パソコンでビデオ通話するときに、ヘッドセットからワイヤレスで通話することができます。

1. **ヘッドセットとパソコンをBLUETOOTH接続する。**
2. **パソコンのビデオ通話用アプリを起動する。**
3. **ビデオ通話用アプリの設定*を確認する。**
   - パソコンでビデオ通話するときは、音楽再生の接続（A2DP）ではなく、通話の接続（HFP/HSP）を選びます。音楽再生の接続を選ぶと、通話できない場合があります。
   - スピーカーの設定で、通話の接続［ヘッドセット（WH-1000XM4C Hands-Free）］**を選びます。（［ヘッドホン（WH-1000XM4C Stereo）］**は音楽再生の接続です。）
   - マイクの設定で、通話の接続［ヘッドセット（WH-1000XM4C Hands-Free）］**を選びます。
     マイクが設定されていない場合、ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出してスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されます。
   - ご利用のビデオ通話アプリケーションによっては、［WH-1000XM4C］のみが表示される場合があります。その場合は、［WH-1000XM4C］を選んでください。
   - その他、よくあるお問い合せとその回答をサポートホームページでご案内していますので、ご参照ください。

* お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がない場合があります。
** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。

ヒント

- 以下の場合は、パソコンの設定で［ヘッドセット（WH-1000XM4C Hands-Free）］を選び、接続してください。「ペアリング済みのパソコンと接続する（Windows 11）」、「ペアリング済みのパソコンと接続する （Mac）」をご覧ください。
  - ビデオ通話アプリケーションの設定が確認できない場合
  - 通話接続［ヘッドセット（WH-1000XM4C Hands-Free）］が選択できない場合

ご注意

- スピーク・トゥ・チャットが有効になっている場合、マイクが正しく設定されていないと、発話によってスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されることがあります。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。その場合は、“Sound Connect”アプリを使ってスピーク・トゥ・チャットを無効にしてください。
- お使いのパソコンやアプリケーションによって、ビデオ通話中にヘッドセットが正しく動作しない場合があります。また、パソコンを再起動すると症状が改善する場合があります。

関連項目

- BLUETOOTH接続をするには
- パソコンをペアリングしてから接続する（Windows® 11）
- パソコンをペアリングしてから接続する（Mac）

- ペアリング済みのパソコンと接続する（Windows 11）
- ペアリング済みのパソコンと接続する （Mac）
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）

TP1002308467

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

音声アシスト機能（Google™アプリ）を使う

Android搭載スマートフォンに搭載されているGoogleアプリと連携し、ヘッドセットを装着したまま声でAndroid搭載スマートフォンを操作できます。

1 アシストと音声入力の選択をGoogleアプリに設定する。

Android搭載スマートフォンで、以下の順に選びます。
［設定］-［アプリと通知］-［詳細設定］-［標準のアプリ］-［アシストと音声入力］
その後、［アシストアプリ］をGoogleアプリに設定します。
上記の操作は一例です。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
最新版のGoogleアプリが必要なことがあります。

中国大陸以外の国・地域向けモデル：
Googleアプリについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書やサポートページまたはGoogle Playのウェブページをご覧ください。
中国大陸向けモデル：
Googleアプリについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書またはサポートページをご覧ください。

Android搭載スマートフォンの仕様により、ヘッドセットからのGoogleアプリの起動に対応しない場合があります。

2 ヘッドセットをAndroid搭載スマートフォンにBLUETOOTH接続する。

3 Android搭載スマートフォンが待ち受け中や音楽再生中に、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルに約1秒以上触れたままにする。



Googleアプリが起動します。

4 ヘッドセットを耳に装着した状態で、Googleに話しかける。

マイクはヘッドセットの左ユニットについています。
Googleアプリと連携しているアプリなどについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
Googleアプリを起動した後、一定時間話しかけないと、音声入力が解除されます。

ご注意

- Android搭載スマートフォンで“OK Google”を有効にしていても、“OK Google”の音声でGoogleアプリを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用する際に、ヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりGoogleアプリが起動しない場合があります。
- 音声アシスト機能に対応していない機器と接続した場合、Googleアプリは動作しません。

TP1002308468

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

音声アシスト機能（Siri）を使う

iPhoneに搭載されているSiriと連携し、ヘッドセットを装着したまま声でiPhoneを操作できます。

1 Siriを有効にする。

iPhoneで［設定］–［Siriと検索］の順に選びます。
［ホームボタンを押してSiriを使用］と［ロック中にSiriを許可］を有効にします。
上記の操作は一例です。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
Siriについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書やサポートページをご覧ください。

2 ヘッドセットをiPhoneにBLUETOOTH接続する。

3 iPhoneが待ち受け中や音楽再生中に、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルに約1秒以上触れたままにする。



Siriが起動します。

4 ヘッドセットを耳に装着した状態で、Siriに話しかける。

マイクはヘッドセットの左ユニットについています。
Siriと連携しているアプリなどについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。
Siriを起動した後、一定時間話しかけないと、Siriが解除されます。

ご注意

- iPhoneで“Hey Siri”を有効にしていても、“Hey Siri”の音声でSiriを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用する際に、ヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりSiriが起動しない場合があります。

TP1002308469

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

使用上のご注意

BLUETOOTH通信について

- BLUETOOTH無線技術は、スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。通信有効範囲は障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって変動します。
- ヘッドセットと接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- ヘッドセットの最大の通信見通し距離は約10 m（32.8 フィート）です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
- BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではヘッドセットおよびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
  - 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- ヘッドセットを航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べてヘッドセット側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- ヘッドセットは、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。BLUETOOTH通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ヘッドセットはすべてのBLUETOOTH機器とのBLUETOOTH接続を保証するものではありません。
  - 接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - 接続する機器が上記BLUETOOTH規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない場合があります。また、操作方法や表示・動作が異なることもあります。
  - ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

温度上昇に関するご注意

- ヘッドセットの充電中、またはヘッドセットを長時間使用すると、ヘッドセットの温度が上昇することがあります。これは、故障ではありません。

静電気に関するご注意

- 空気が乾燥する時期にヘッドセットを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがあります。これはヘッドセットの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身につけていただくことにより影響が軽減されます。

装着に関するご注意

- 使用後はヘッドセットを耳からゆっくり取り外してください。ヘッドセットは密閉度を高めています。強く押し付けたり急に外したりすると鼓膜を痛める恐れがあります。
- ヘッドセットを装着したときに、振動板から音が生じる場合があります。これは、故障ではありません。
- ヘッドセットを長時間使用すると、耳にかゆみや炎症などの症状が出る場合があります。
  ヘッドセットの使用中に上記のような症状を感じたときは、すぐに使用を中止してください。その後、医師、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

その他のご注意

- ヘッドセットは精密機器のため、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。変形や損傷が生じ、性能低下の原因になることがあります。
- タッチセンサーコントロールパネルにステッカーなどを貼ると、正しく動作しないことがあります。
- ヘッドセットを折りたたむ際に指を挟まないようにご注意ください。
- 携帯電話でご使用の際、電波状況、場所の影響により、ご使用できない場合があります。
- お使いのスマートフォンの電波状況や場所の影響によっては、ヘッドセットが使用できない場合があります。
- ドライバーユニットとマイクに息を吹きかけないでください。
- ヘッドセットは力を加えたまま長時間放置すると、変形する恐れがあります。保管するときは、力を加えないようにしてください。
- ヘッドセットを使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤーパッドは消耗品です。長期の使用・保存により劣化したり破損したりした場合は、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。
- ヘッドセットは防水仕様ではありません。水や異物が入ると焼損や故障の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止してください。その後、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。特に以下の場合はご注意ください。
  - 洗面所などでの使用
    水の入った洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
  - 汗をかく状況での使用
    濡れた手でヘッドセットに触れたり、濡れた衣類にヘッドセットが触れると、ヘッドセットが濡れることがあります。

お手入れのしかた

- プラグは、乾いた柔らかい布でときどき拭いてください。
- ヘッドセットの外装のほこりや汚れは、純水タイプのウェットティッシュで拭き取った後、乾いた布で水気を完全に拭き取ってください。以下のものは、表面の仕上げを痛めたり、故障や破損につながるため使わないでください。
  - アルコールを含むウェットティッシュ
  - シンナー
  - ベンジンなど

ヘッドセットを医療機器の近くで使わない

- 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- ヘッドセットは磁石を使用しています。この磁石はペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。ヘッドセットをこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、ヘッドセットのご使用前に担当医師にご相談ください。

ヘッドセットを磁気カードに近づけない

- ヘッドセットは磁石を使用しています。磁気を利用したカード類を近づけると、カードの磁気が変化して使えなくなることがあります。

TP1002308470

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

対応コーデックについて

コーデックとはBLUETOOTH接続で音声を無線伝送する際に使用する「音声圧縮変換方式」のことです。
ヘッドセットが音楽再生の接続（A2DP）時に対応しているコーデックは、SBC、AAC、LDACの3種類です。

- SBC
  Subband Codecの略です。
  SBCは、BLUETOOTH機器が標準で使用する音声圧縮技術です。
  BLUETOOTH機器は必ずSBCに対応しています。

- AAC
  Advanced Audio Codingの略です。
  AACは、主にiPhoneなどのApple製品で使用されており、SBCに比べ高音質です。

- LDAC
  LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBLUETOOTH通信経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。
  SBC等の既存BLUETOOTH通信向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します*。
  また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍**のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBLUETOOTH無線伝送を実現しています。

* DSDフォーマットは除く。
** 990 kbps（96/48 kHz）または909 kbps（88.2/44.1 kHz）のビットレートを選択した場合のSBCとの比較。

接続機器が上記のいずれかのコーデックで音楽を送信してきたとき、自動的にそのコーデックに対応し音楽再生します。
LDACで再生したい場合は、“Sound Connect”アプリを使用して、［Bluetooth接続品質］を［音質優先］に設定してください。［接続優先］および［低遅延］では、LDACでの再生ができません。
SBCよりも高音質なコーデックに対応している接続機器の場合、対応しているコーデックの中から希望するコーデックで音楽を楽しむために、事前に接続機器側の設定が必要な場合があります。
コーデックの設定については接続機器の取扱説明書をご覧ください。

TP1002308471

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ソフトウェアを最新の状態に保つ方法（快適にご使用いただくために）

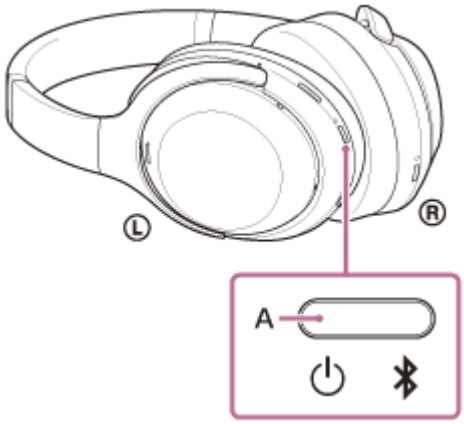
ヘッドセットのソフトウェアを最新の状態にしておくと、新しい機能を楽しむことができたり、いくつかの問題が解決することがあります。“Sound Connect”アプリでヘッドセットのソフトウェアをアップデートしてください。
ヘッドセットの最新のソフトウェアおよびアップデートの方法について詳しくは、サポートページ内のお知らせなどをご確認ください。
“Sound Connect”アプリで自動アップデートの設定を有効にしていて、以下の条件を満たしているときは、ヘッドセットを使用していない夜間を目途に自動でアップデートを開始します。

- ソフトウェアの転送が完了している。
- ヘッドセットの充電式電池の残量が20%より多い。
- ヘッドセットの電源がオフの状態のとき。

以下の方法でも、ヘッドセットのソフトウェアアップデートを行うことができます。

1 ヘッドセットの電源を入れる。

電源ボタン（A）を約2秒以上押したままにします。



2 スマートフォンなどのモバイルデバイスで“Sound Connect”アプリを起動する。

3 画面の表示に従ってアップデートを行う。

ご注意

- アップデートを行うときは、アップデートに使用するモバイルデバイスに接続されている他のBLUETOOTHデバイスの接続を事前に切ってください。
  モバイルデバイスにBLUETOOTH Low Energyに対応した機器（ウェアラブル端末・スマートウォッチなど）が接続されているとアップデートができない場合があります。
- ヘッドセットのアップデートが完了できない場合、以下の点を注意してください。
  - モバイルデバイスにある、“Sound Connect”アプリ以外のアプリをすべて終了する。
  - ヘッドセットとモバイルデバイスを充分に充電する。
  - ヘッドセットとアップデートで使用するモバイルデバイスをできるだけ近づけてアップデートを行う。
  - 周辺の無線LAN機器やBLUETOOTH機器などの近くでアップデートを行わない。
  - アップデートはモバイルデバイスの省電力モード*をオフにして行う。
    お使いのモバイルデバイスのOSバージョンによって、省電力モードではアップデートが完了しない場合があります。

* 名称はお使いのモバイルデバイスによって異なります。

TP1002308472

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

水ぬれによる焼損や故障を防ぐために

ヘッドセットの防水性能について

ヘッドセットは防水仕様ではありません。水や異物が入ると焼損や故障の原因になります。

下記のような状況を避け、ヘッドセットに水分や汚れが付かないよう注意してください。

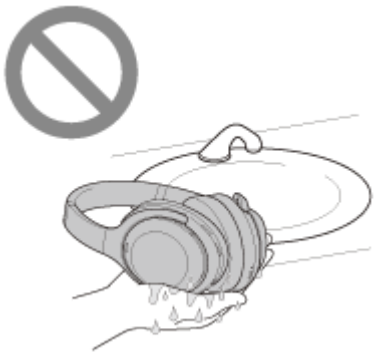
- 雨や雪の中で使用する。







- キッチンでの水仕事や洗面所で手を洗った後、水にぬれた手をよく拭かずにヘッドセットに触れる。



- 汗が付いた手でヘッドセットを触ったり、多くの汗がヘッドセットに付着する状況で使用する。





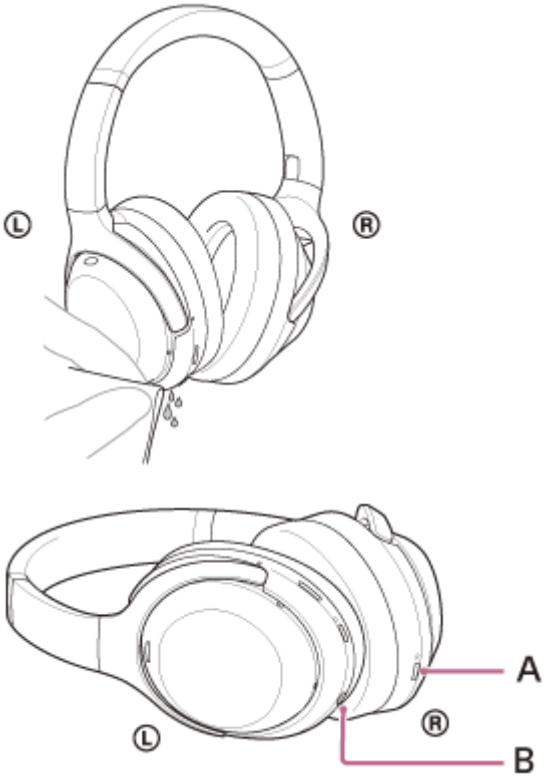


- 冷えたペットボトルと一緒にカバンの中に入れる。



万一、ヘッドセットに水がかかったり、内部に入った場合は

ぬれたまま充電したり、電源を入れると焼損や故障の原因になります。なるべく振動を与えないようにゆっくりとイヤーパッドを下に向け、イヤーパッドから水を抜いてください。次に、ヘッドセットを立てた状態で、内部から水が出てこなくなるまで、乾いた布などをUSB Type-C端子（A）とヘッドホンケーブル入力端子（B）に当ててください。その後、完全に乾燥するまで風通しの良い日陰で放置してください。



TP1002308473

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

ライセンスについて

- 本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/sl/26/
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- 本製品に搭載され、または本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェア（オペレーションシステム含む）には、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更されたり、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

TP1002308474

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

商標について

- Google、AndroidおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。
- Apple、iPhone、macOS、MacおよびSiriは米国および他の国や地域で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- App Storeは、米国および他の国や地域で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- USB Type-C™およびUSB-C™は、USB Implementers Forumの商標です。
- LDACおよびLDACロゴは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標です。
- “DSEE”、“DSEE Extreme”はソニーグループ株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

TP1002308475

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れにしたがってください。

1．ヘッドセットの電源を一度オフにして、充電してから再度電源をオンにする。

↓

2．接続機器（パソコン、スマートフォンなど）を再起動する。

↓

3．“Sound Connect”アプリのメニューからサポートサイトにアクセスし、該当するトラブルと解決方法を調べる、または下記のサポートサイトを確認する。
https://www.sony.net/support/WH-1000XM4C/

↓

4．ヘッドセットをリセットする。

↓

5．ヘッドセットを初期化する。

↓

6．それでも正常に動作しない場合は、下記のソニーの相談窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。
https://www.sony.net/support-contact

関連項目

- 充電する
- リセットする
- 初期化する

TP1002308476

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

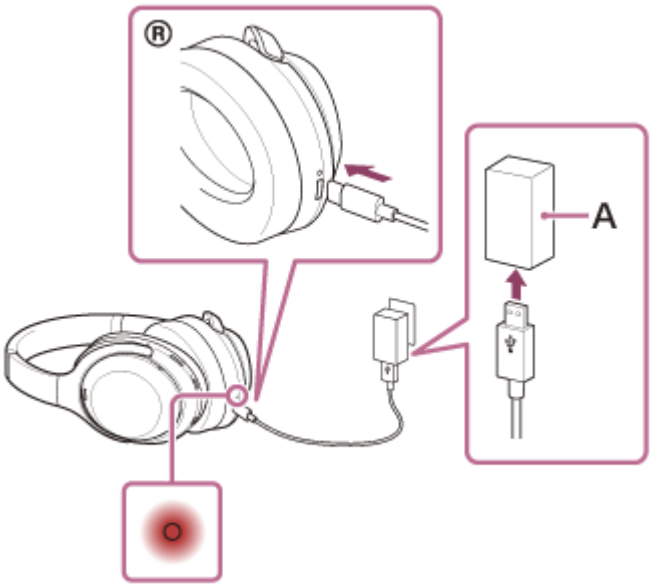
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

リセットする

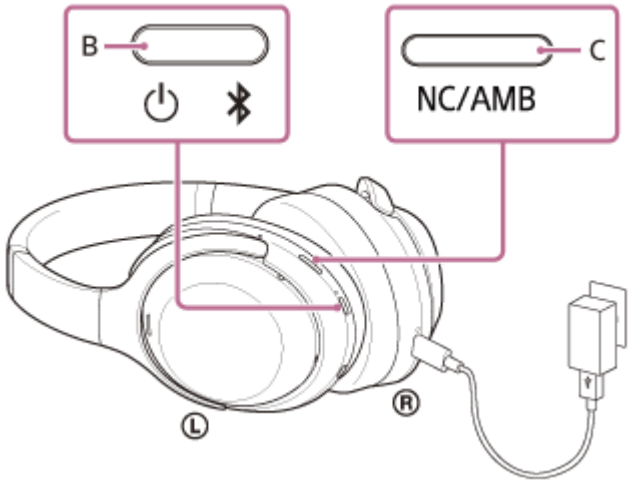
ヘッドセットの電源が入らない、または電源が入っているのに操作ができない場合は、ヘッドセットをリセットしてください。

1 ヘッドセットを電源コンセントに接続する。

USB Type-CケーブルとUSB ACアダプター（A）を使用します。



2 電源ボタン（B）とノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタン（C）を同時に押す。



ヘッドセットがリセットされます（充電ランプが一度消灯したあとに再点灯します）。

ペアリング情報、その他の設定は保持されます。
症状が改善されないときはヘッドセットを初期化してください。

関連項目

- 初期化する

TP1002308477

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

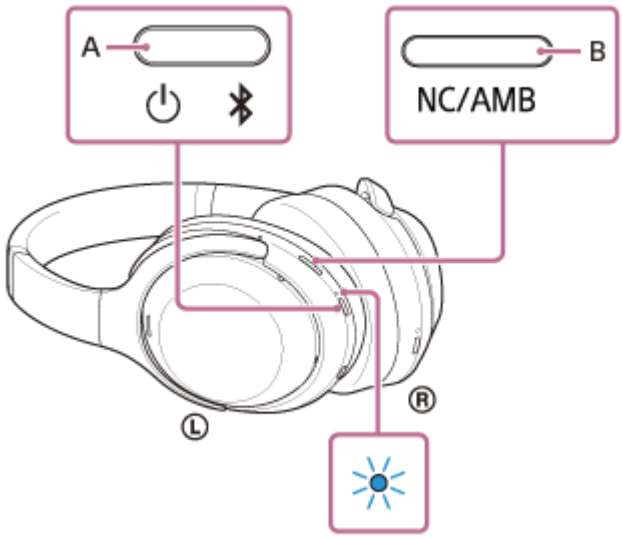
初期化する

ヘッドセットをリセットしても症状が改善されないときは、初期化してください。

1 ヘッドセットの電源を切る。

USB Type-Cケーブルを外してください。

2 電源ボタン（A）とノイズキャンセリング／アンビエントサウンドモードボタン（B）を約7秒以上押したままにする。



初期化が完了すると、ランプが青色に4回点滅します。

音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。この場合は接続相手の機器からヘッドセットのペアリング情報を一度削除してもう一度ペアリングをしてください。
初期化しても動作が改善されないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店へお問い合わせください。

関連項目

- リセットする

TP1002308478

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4C

主な仕様

電源：

DC 5 V（市販USB ACアダプターを使用）
内蔵されたリチウムイオン電池を使用（製品の動作電源 DC 3.7 V）

充電時間：

約3時間

ご注意

- 使用条件により変わる場合があります。

充電温度：

5 ℃～35 ℃（華氏 41 °～ 95 °）

許容動作温度：

0 ℃～40 ℃（華氏32 °～ 104 °）

質量：

約253 g（9 オンス）

インピーダンス：

40 Ω （1 kHzにて）（有線接続、POWER ON 時）
16 Ω （1 kHzにて）（有線接続、POWER OFF 時）

音圧感度：

106 dB/mW（有線接続、POWER ON 時）
101 dB/mW（有線接続、POWER OFF 時）

再生周波数帯域：

4 Hz - 40 000 Hz（IEC [1)] ）
（有線接続、POWER ON 時）

1) IEC（国際電気標準会議）規格による測定値です。

通信方式：

BLUETOOTH

ヘッドセットの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

対応iPhone

iPhone 16e
iPhone 16 Pro Max
iPhone 16 Pro
iPhone 16 Plus

iPhone 16
iPhone 15 Pro Max
iPhone 15 Pro
iPhone 15 Plus
iPhone 15
iPhone 14 Pro Max
iPhone 14 Pro
iPhone 14 Plus
iPhone 14
iPhone SE（第3世代）
iPhone 13 Pro Max
iPhone 13 Pro
iPhone 13
iPhone 13 mini
iPhone 12 Pro Max
iPhone 12 Pro
iPhone 12
iPhone 12 mini
iPhone SE（第2世代）
iPhone 11 Pro Max
iPhone 11 Pro
iPhone 11
iPhone XS Max
iPhone XS
iPhone XR
※ 2026年3月 現在
上記機種の対応iOSによって“Sound Connect”アプリが使用できない場合があります。

TP1002308479

5-076-266-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation